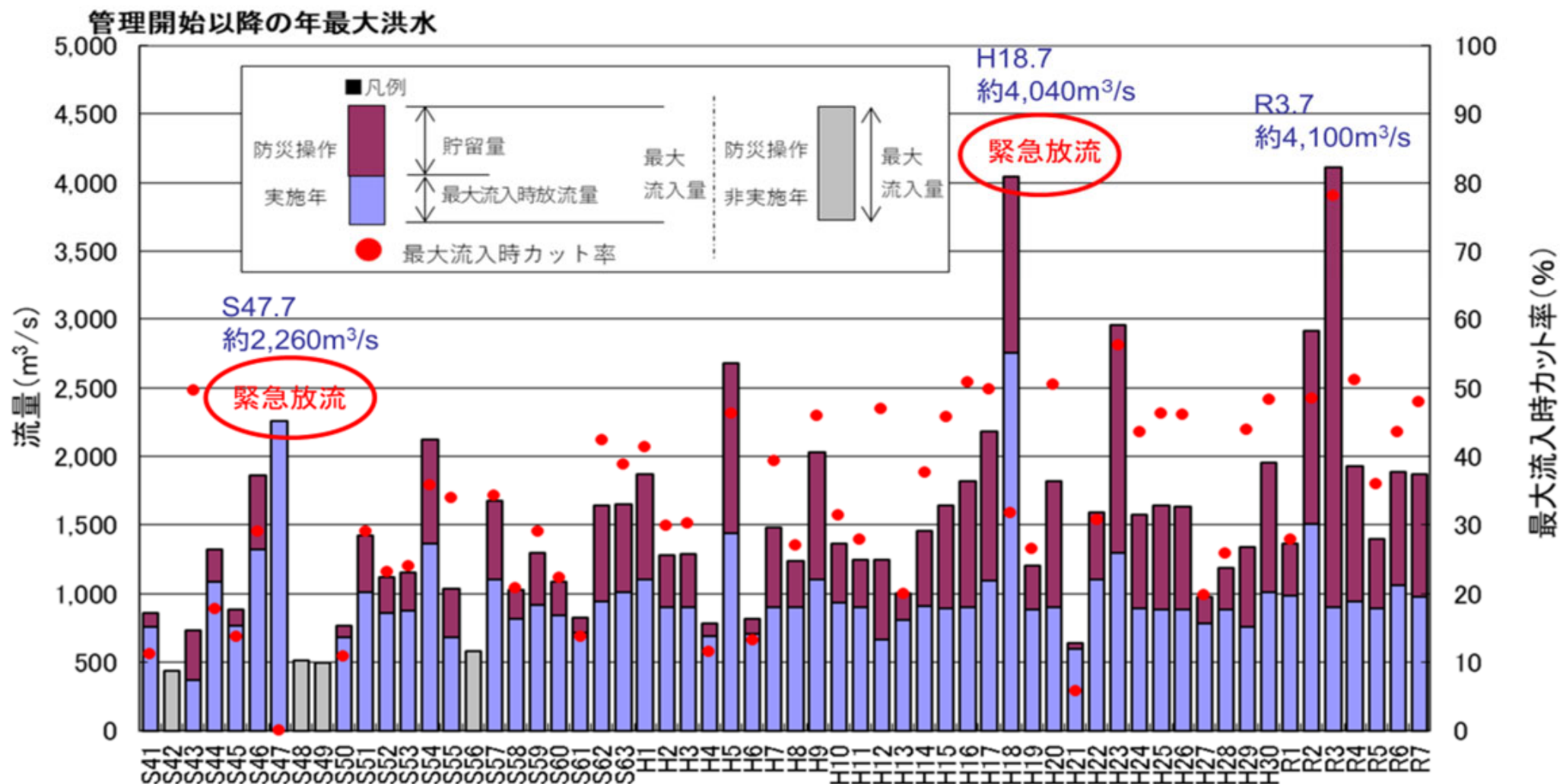


4-1) 令和7年度 鶴田ダム of 出水対応

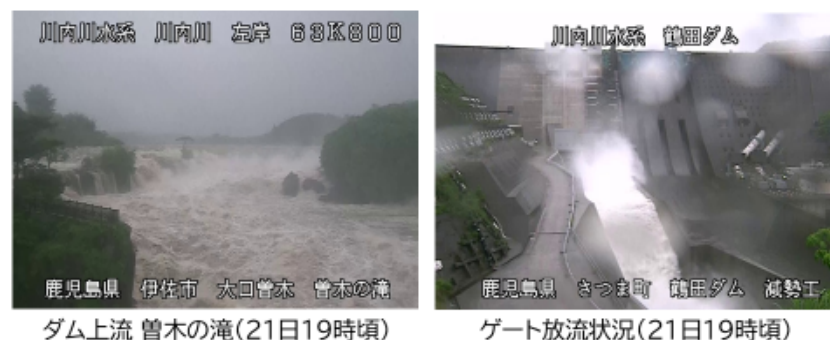
鶴田ダム 年最大流入量 経年図

- 令和7年度は、5月に1回、8月に1回の計2回の洪水調節を実施。
- 年最大流入量は、5月の梅雨前線に伴う豪雨であり、1,872m³/sを記録。
- ※放流量 975m³/s、貯留量 897m³/s、最大流入時カット率 48%

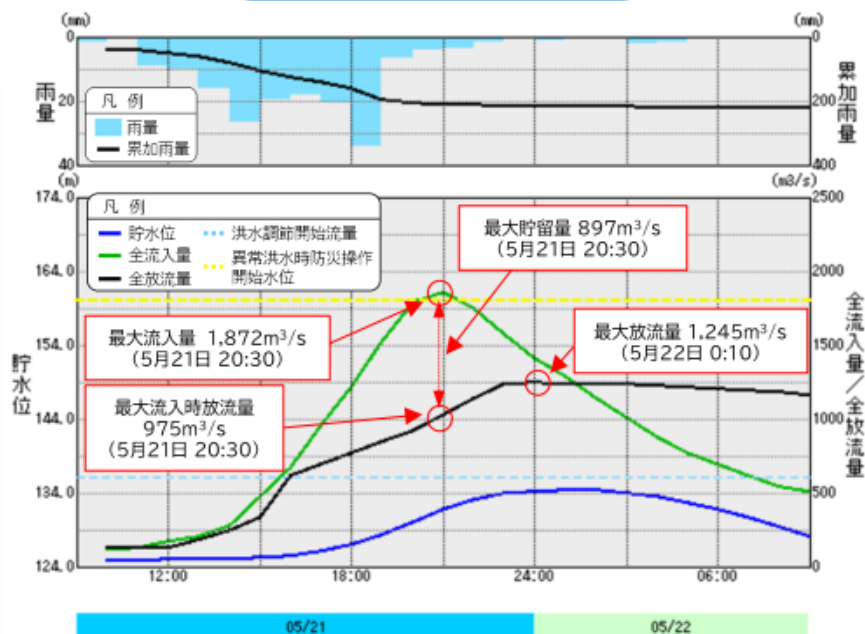
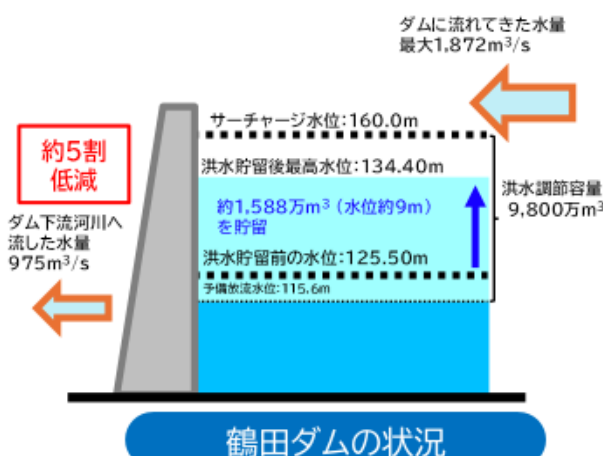


防災操作の効果（5月 梅雨前線に伴う豪雨）

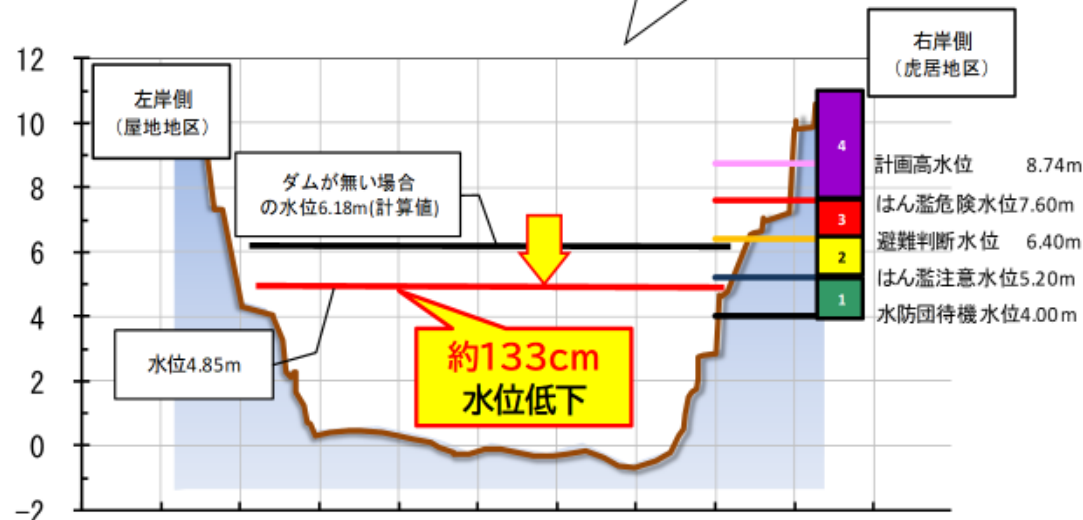
- 梅雨前線に伴う豪雨により、鶴田ダム上流域において、222mm（5月20日～5月22日）の累加雨量を観測しました。
- 鶴田ダムでは、21日15時40分より、ダムへ流れ込む水量の一部を貯める「洪水調節」を行いました。
- ピーク流入量は約1,872m³/sを記録し、その際ダムにより約897m³/sを貯留して下流河川の増水を緩和しました。
- 鶴田ダムが無かった場合の宮之城水位観測所の水位は、はん濫注意水位（5.20m）を上回る6.18mに達していたと想定され、ダムの洪水調節によって約1.33m水位を低下させたと推定されます。



出水時の状況写真



鶴田ダムによる洪水調節



水位低減効果(宮之城水位観測所地点)

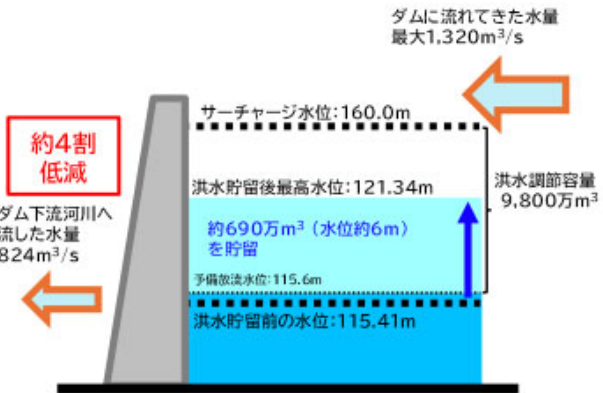
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

防災操作の効果（8月 前線に伴う豪雨）

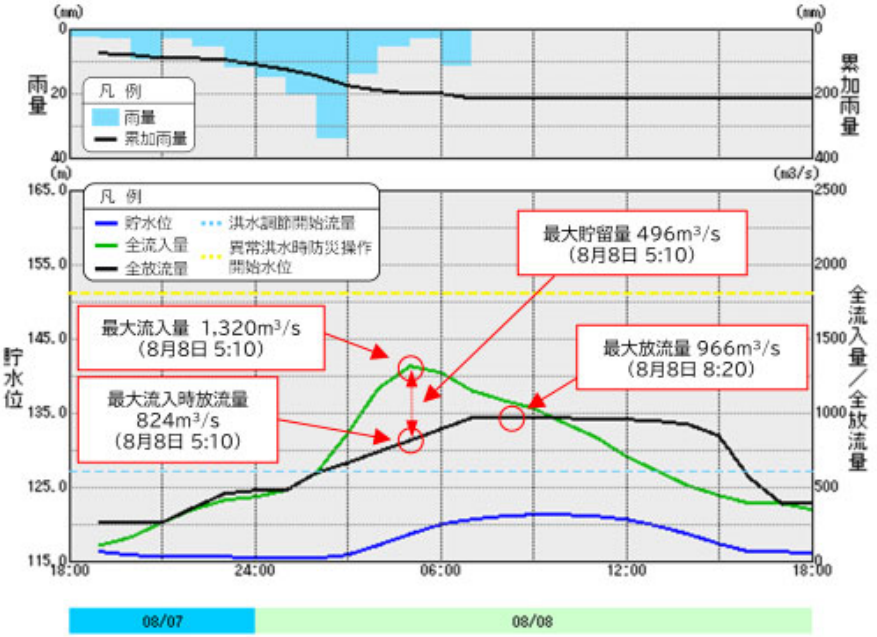
- 前線に伴う豪雨により、鶴田ダム上流域において、215mm（8月6日2時～8月8日10時）の累加雨量を観測しました。
- 鶴田ダムでは、8日2時10分より、ダムへ流れ込む水量の一部を貯める「洪水調節」を行いました。
- ピーク流入量は約1,320m³/sを記録し、その際ダムにより約496m³/sを貯留して下流河川の増水を緩和しました。
- 鶴田ダムが無かった場合の宮之城水位観測所の水位は、はん濫注意水位（5.20m）を上回る6.12mに達していたと想定され、ダムの洪水調節によって約0.70m水位を低下させた~~と推定されます。~~



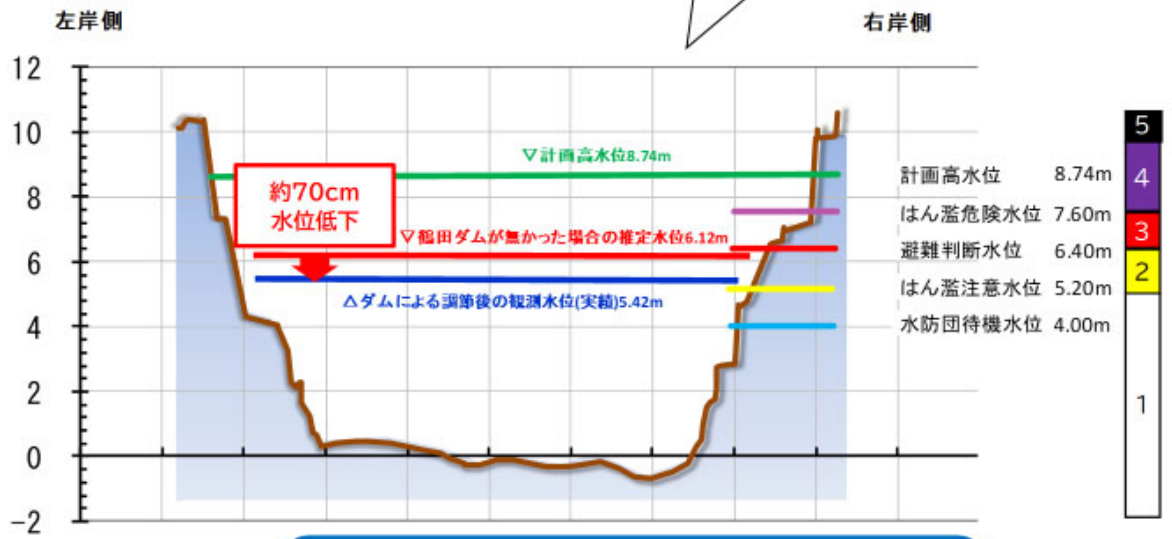
鶴田ダムの貯留状況



鶴田ダムの状況



鶴田ダムによる洪水調節



水位低減効果(宮之城水位観測所地点)

※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4－2）情報表示板の見直しについて

①_前回までの流れ

＜背景＞令和3年7月出水を受けて 鶴田ダムでは

- ダムどれだけの水が貯まっているか分かりにくい。
 - 緊急放流開始の切迫度を捉えるためには、貯水率を監視することが有効。
 - ダムの貯水率は、緊急放流の判断となる大変重要な情報。
- というご意見を踏まえ、
情報表示板に貯水位、貯水率をリアルタイム(10分ごと更新)に表示する改良を実施。

会議での意見

- 貯水率と合わせて、ダムが危険な状況(緊急放流の可能性等)が分かる工夫が必要。
- 貯水率50%、貯水位140mの表示は、貯水位が280mまで大丈夫と勘違いされる。
- 情報表示板の数字の表示は分かりにくい。
- 山にある警報局の回転灯が川から見えやすい。
- 点いているランプが危険になると点滅する、文字色を変えるなど考えられる。
- 事前放流は容易ならざる状況のため、予備放流と表示を使い分けた方が良い。
- 管理所で案を出し、住民の意見を聞いて反映させる。



＜表示内容変更の見通し＞

情報表示板の改良

⇒R8年度に設計業務発注予定

【8月頃、11月頃に意見交換会】

R9年度までの完了に向け推進中

＜情報表示板への貯水率表示(R5年度から実施)＞

鶴田ダム情報
洪水調節中

流入 4200m³/s
放流 2400m³/s

交互表示

鶴田ダム情報
洪水調節中

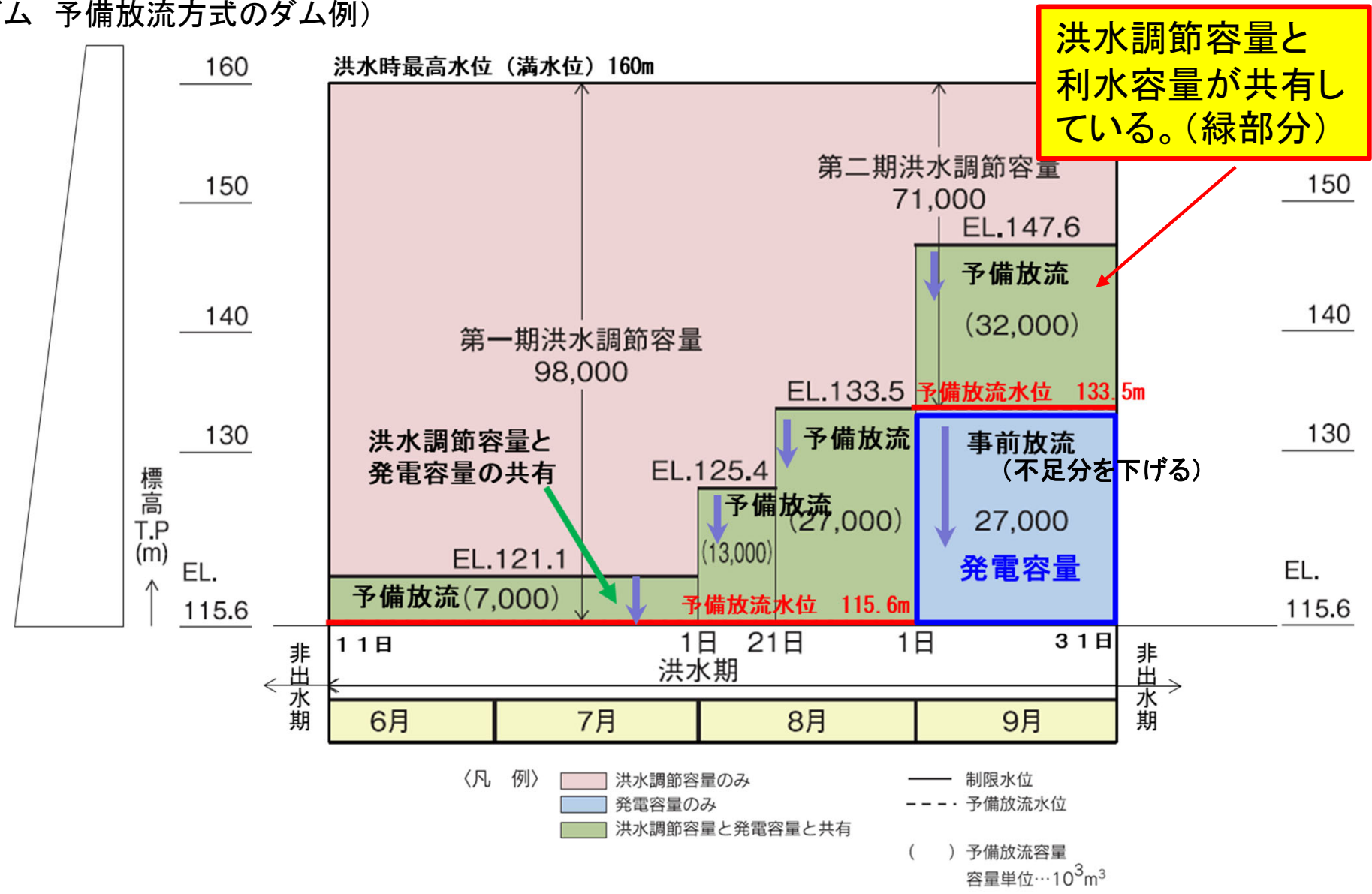
貯水位 143m
貯水率 50%



①_鶴田ダムの予備放流、事前放流ルール

- ダム流入量が600m³/s(洪水と定義)の予測がある時、必ず予備放流(緑部分を下げる)を実施する。
(操作規則に基づき実施する。予備放流で7~8月期は有効貯水容量100%、9月期は約70%の洪水調節容量を確保する。)
- 9月期においては、基準雨量216mm/12hを超えると、約30%の発電容量部分の事前放流の実施判断を行う。
- 流入量予測を行った結果、治水容量が不足する場合、不足する容量分の事前放流を実施する。

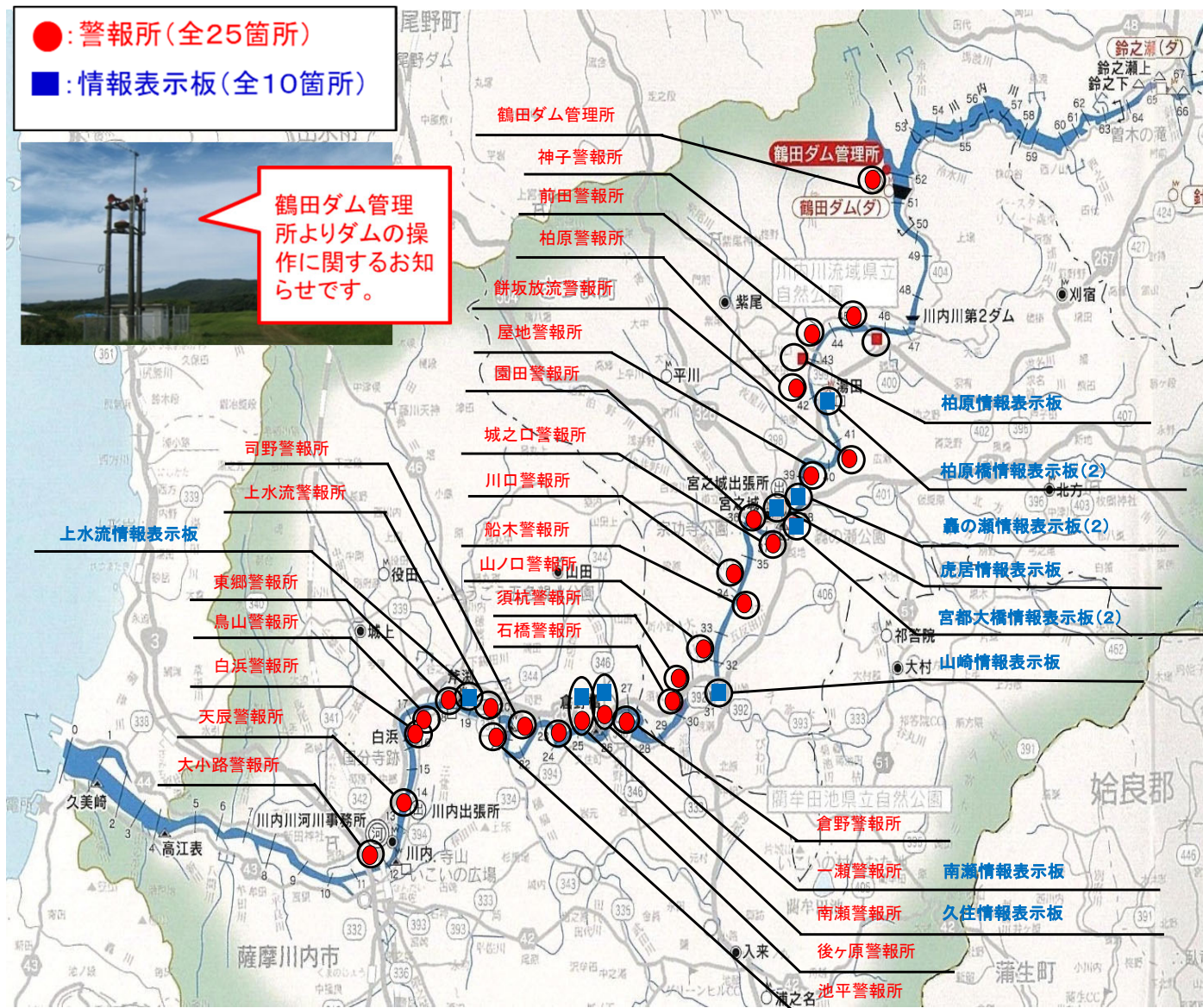
(多目的ダム 予備放流方式のダム例)



 国土交通省 九州地方整備局
鶴田ダム管理所

●: 警報所 (全25箇所)
■: 情報表示板 (全10箇所)

鶴田ダム管理所よりダムの操作に関するお知らせです。



①_現在の情報表示板の表示内容

○鶴田ダムおよび下流河川水位に関する情報、自治体からの避難情報を表示します。

鶴田ダム

放流開始前	予備放流中・事前放流中		洪水調節中		緊急放流中
鶴田ダム情報 14時20分 放流開始予定	鶴田ダム情報 容量確保中 流入 100m³/s 放流 200m³/s	鶴田ダム情報 ダム放流への 問い合わせ先 0996-59-2030	鶴田ダム情報 洪水調節中 流入 2000m³/s 放流 1300m³/s	鶴田ダム情報 洪水調節中 貯水位 143m 貯水率 50%	鶴田ダム情報 緊急放流中 流入 4000m³/s 放流 2500m³/s

放流開始の1時間前から表示

河川水位

宮之城水位観測所から水防団待機水位を超えてから表示
(さつま町管内の表示板のみ)

河川情報	河川情報	河川情報	河川情報
宮之城観測所管内 レベル1 水防団待機水位	宮之城観測所管内 レベル2 はん濫注意水位	宮之城観測所管内 レベル3 避難判断水位	宮之城観測所管内 レベル4 はん濫危険水位

川内水位観測所から水防団待機水位を超えてから表示
(薩摩川内市管内の表示板のみ)

河川情報	河川情報	河川情報	河川情報
川内観測所管内 レベル1 水防団待機水位	川内観測所管内 レベル2 はん濫注意水位	川内観測所管内 レベル3 避難判断水位	川内観測所管内 レベル4 はん濫危険水位

避難情報
自治体

さつま町情報	さつま町情報
11日14時30分 虎居地区 避難指示	11日14時30分 虎居地区 避難指示解除

(参考) 水位の名称

水位危険度レベル	水位の名称等	備考
レベル5	氾濫の発生	
レベル4	氾濫危険水位	河川がはん濫する恐れのある水位
レベル3	避難判断水位	避難情報発表の目安となる水位
レベル2	氾濫注意水位	河川の氾濫の発生を注意する水位
レベル1	水防団待機水位	

回転灯



放流中は赤色 1 色が常に点灯

①【見直し案】情報表示板の表示内容

前回の見直し案

鶴田ダム	予備放流中・事前放流中			洪水調節中	洪水調節中 (緊急放流の可能生)	緊急放流中
	鶴田ダム情報 予備放流中	鶴田ダム情報 事前放流中	鶴田ダム情報 予備放流中	鶴田ダム情報 洪水調節中	鶴田ダム情報 洪水調節中	鶴田ダム情報 緊急放流中
	流入 100m³/s 放流 200m³/s	流入 100m³/s 放流 200m³/s	貯水位 143m/160m 貯水率 50%	流入 2000m³/s 放流 1300m³/s	流入 3800m³/s 放流 2200m³/s	流入 4800m³/s 放流 3000m³/s

【ポイント】

- ① 容量確保中を、予備放流中と事前放流中に使い分けて表示。 → 事前放流が必要な放流であることを情報発信
- ② 貯水位に満水位の160mを追加（〇〇m/160mと表示）。 → 貯水率から誤った水位の認識を防止
- ③ 回転灯を増設し、ダムの状況によって使い分けて表示。 → 通常の洪水調節と緊急放流を分かり易く情報発信

見直し案

鶴田ダム	予備放流中・事前放流中			洪水調節中		緊急放流中
	鶴田ダム情報 予備放流中	鶴田ダム情報 事前放流中	鶴田ダム情報 予備放流中	鶴田ダム情報 洪水調節中	鶴田ダム情報 洪水調節中	鶴田ダム情報 緊急放流中
	流入 100m³/s 放流 200m³/s	流入 100m³/s 放流 200m³/s	貯水位 143m/160m 貯水率 50%	流入 2000m³/s 放流 1300m³/s	貯水位 143m/160m 貯水率 50%	流入 4800m³/s 放流 3000m³/s

○表示色について

前回の見直し案では、「洪水調節中」について、通常の洪水調節中は「黄色表示」、緊急放流の可能性がある場合は「赤色表示」としていましたが、放流の段階に応じた表示色にしたほうが分かり易いのではないかと考え見直しています。

※R8の設計業務において、「緊急放流の可能性のある場合」の表示の方法などの案を作成し、8月頃の住民意見交換会時に提示。

○実施時期については、表示色のマルチカラー化(3色→9色)が全箇所完了するR9年度を予定
(R8.3時 11/15面)

○下流河川水位に関する情報、自治体からの避難情報は継続実施。

①【見直し案】回転灯の増設

現状

放流警報局(25局)



放流警報表示板(10箇所)



- ・ 放流警報局、表示板ともに放流中は**赤色**1色が常に点灯
- ・ 操作は、放流警報局、表示板それぞれで操作
- ・ 放流警報局は、放流開始の約1時間前から上流局から点灯
- ・ 表示板は、放流開始の約1時間前から全箇所一斉に点灯

見直し案

○増設する回転灯案

- ・ 通常の**赤色**回転灯に加え、緊急放流用として放流警報局に**紫色**回転灯を増設

○点灯のタイミング案

- ・ **紫色**回転灯の点灯開始は、緊急放流開始決定後（緊急放流開始の1時間前程度）を想定

○今後のスケジュール案

R8に設計業務発注

R9に放流警報局の回転灯増設工事発注予定

※増設する回転灯の数や色、点灯タイミングなどの設計案を作成し、8月頃の住民の方との意見交換会時に提示

4－3）上水流情報表示板の更新について

上水流情報表示板の更新について

<背景>

○鶴田ダムの洪水調節に関する操作方法及び情報提供のあり方について、様々な視点から意見を聴取し、検討することを目的として、ダム下流住民代表、学識者、報道関係者、ダム下流自治体、河川管理者をメンバーとした「鶴田ダムの洪水調節に関する検討会(※以下、検討会)」を開催しました。

○検討会を踏まえ、**情報表示板の設置箇所を4箇所から10箇所に増設**しています。

平成18年7月出水時



令和7年度現在



改善内容

劣化に伴い更新となる「上水流情報表示板」において、設置当初(平成21・22年)より、**居住(地域)や生活状況が大きく変化**していると考えられる

表示板の向きの見直しによる、現在の居住状況に合わせた新たな情報提供範囲を設定

改善方法

現在の居住状況を整理し、表示板の向きの見直しを行う。

現状

上水流(上流・下流) 情報表示板



主に、川内川の上流・下流の2方向に向けて情報提供を行っている

設置目的

流域の河川利用者及び周辺住民等に対してダムからの放流に伴う流水状況の著しい変化による危険の警告を行うため

令和5年版_電気通信施設設計要領・同解説(通信編)より、抜粋

情報提供 範囲

河川の周辺に人家が密集している所、河川敷地内に遊園地等のレジャー施設のある所、水泳・キャンプ・釣人等が多く集まるような河川利用が頻繁な地点

令和5年版_電気通信施設設計要領・同解説(通信編)より、抜粋

上水流情報表示板の更新について

上水流(上流・下流) 情報表示板

現状

薩摩川内市
東郷公民館

東郷救急排水機場

旧東郷中学校

居住エリア

上水流情報表示板

：情報提供範囲

Googlemapより作成

現状の視認性(課題)

- 上流側の一部居住エリアに、視認不可エリアが発生している状況である

改善点

上記の課題に対し、表示板向きを変更し、情報提供範囲の効率化が可能

※前面の道路、高水敷への搬路からも視認できるため、河川利用者に対しても情報提供が出来ていると考えている。

R7実施

上流の向きを居住区
に向けた改良を実施

上水流情報表示板

：情報提供範囲

Googlemapより作成

R8.3工事完了

4－5）地域防災力向上の取組み

薩摩川内市の取り組み

薩摩川内市 防災安全課

年間計画をたて、計画的に訓練を実施

地域防災力の向上を目指して



更新日：2026年01月14日

令和7年度の防災安全、消防に関する訓練等の計画を公表します（令和8年1月1日時点更新）

近年多発する自然災害では、自分の身は自分で守る「自助」、自治会や地区コミュニティ協議会、民間・ボランティアなどによる「共助」、国や県、市などの「公助」の役割をそれぞれが認識し、防災意識の向上に取り組み、市民と地域、行政が連携して地域防災力の向上に努める必要があることから、本市においては災害等に係る訓練を計画的に実施しています。

複雑化する災害等に対し、生活環境を守り、住み慣れた地域に安全・安心に住み続けられるように、防災力・消防力の強化を図るため、主な訓練計画を取りまとめましたので、公表します。今後市民の皆様に参加していただけるよう、より多くの訓練を計画していきます。

なお、「資料4」令和7年度 防災に関する講座、訓練実施状況及び実施予定について（自主防災組織等）は、毎月更新し公表します。



[「資料1」 令和7年度訓練計画について（防災安全課）令和7年11月1日時点更新（PDFファイル: 193.1KB）](#)



[「資料2」 令和7年度訓練計画について（消防局）（PDFファイル: 88.5KB）](#)



[「資料3」 令和7年度 第1回火災対応訓練について（PDFファイル: 103.5KB）](#)



[「資料4」 令和7年度 防災に関する講座、訓練実施状況及び実施予定について（自主防災組織等）令和8年1月1日時点更新（PDFファイル: 104.9KB）](#)



[「資料5」 令和7年度年間行事計画（消防団）（PDFファイル: 94.9KB）](#)

主な取組み

- 5月～7月 原子力防災のための小中学校の引き渡し訓練
- 5月 川内川総合水防演習
- 9月 避難所運営訓練
- 10月 大規模火災対応訓練
- 2月 原子力防災訓練
- 3月 シェイクアウト訓練
- 1月～3月 防災に関するラジオ番組放送
- 通年 津波対応訓練
- 通年 防災に関する講座
- 通年 小中学校での防災教育

大規模火災対応訓練

- 消防局、地区コミュニティ協議会、自治会と連携し、山林火災を想定した大規模火災の対応訓練を実施
- 図上による情報伝達訓練だけでなく、住民には実際に避難してもらい、避難所運営訓練を実施



津波対応訓練

- 自治会や地区コミュニティ協議会単位で実施
- 防災行政無線を利用して避難の呼び掛け
- 消防団とも協力し実施
- 避難場所へ避難した後には防災講話を実施



防災に関する講話

- 自主防災組織を中心に、社会福祉施設や企業、学校等に出前講座を実施
- 令和7年度は15件実施（2月末時点）
- 一般災害や原子力防災に関する内容で実施
- 自主防災組織の組織率は95.1%



地域防災力向上の取組み【出前講座(中央公民館)】

薩摩川内市中央公民館 令和7年6月27日

「今から取り組もう！防災講座」として、防災の基礎知識、風水害の体験活動、施設参観をテーマに、身近な災害の発生例、風水害の具体的な体験活動を通して防災知識を学んで頂く出前講座を実施。



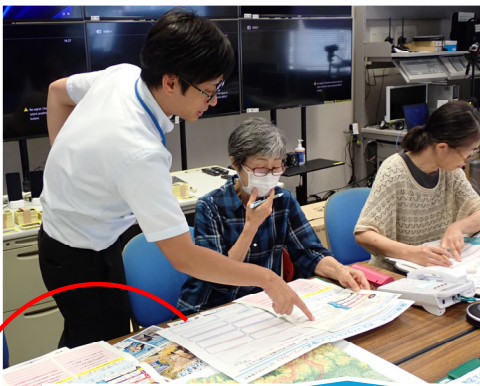
①出水概要説明



②鶴田ダムの概要



③マイタイムライン説明



④マイタイムライン作成

平成18年7月出水の状況【被害状況】

川内川 右岸 37k100 さつま町虎居地区

さつま町虎居(川内川右岸37k350宮之城橋 右側上流を望む)

さつま町虎居地区での救助状況 ※陸上自衛隊第8師団提供

さつま町虎居地区宮都大橋付近

さつま町虎居地区(浸水深表示看板)

▽平成18年7月洪水浸水深跡
△川内川7年6月洪水浸水深跡

薩摩川内市 地区マイタイムライン〈様式〉〈ワークA〉

九州地方整備局 Kyushu Regional Development Bureau

薩摩川内市マイ・タイムライン

公民会 氏名

川内川の氾濫に備えて、早めに次の行動をとりましょう！
川内川が氾濫した場合の浸水深は、最大 m

普段の行動

公民会のみなさんがすること

- ☐ 雨の予報を調べる
- ☐ 川内川の水位情報を調べる
- ☐ 避難の準備をする(避難先へ持ち出し品チェック)
- ☐ 高齢者及び要支援者の情報交換
- ☐ レベル2以上の警報の「1」の重要性(急傾斜地・内水面等)
- ☐ 届出避難所の役場への報告(快速な対応)
- ☐ 自主防災組織の徹底と村主

あなたや家族がすること

- ☐
- ☐
- ☐
- ☐

他に必要のことを記入しよう

緊急時の行動

防災情報	薩摩川内市 防災行動	伝達方法	公民会がすること	あなたや家族がすること
レベル2 大雨・洪水注意報(気) 注意水位(河)	・今後の大雨に関する注意喚起 ・避難所開設準備	【伝達手段】 ・ホームページ ・テレビ ・ラジオ ・アラートメール		
レベル3 大雨・洪水警報(気) 緊急水位(河) 避難所開設(河)	・避難所開設及び情報提供 ・避難所開設の発表	【伝達手段】 ・ホームページ ・ホームページ ・ラジオ ・アラートメール		
レベル4 緊急水位1・3(河) 緊急水位(河)	・避難指示の発表	【伝達手段】 ・ホームページ ・ラジオ ・アラートメール ・アラートメール		
レベル5 大雨特別警報(気)	・緊急避難の発表	【伝達手段】 ・ホームページ ・ラジオ ・アラートメール ・アラートメール による呼びかけ		

【凡例】(気)：気象庁、(河)：川内川河川事務所

【避難について】
避難が発表されない場合
→ 自主防災組織等へ連絡、安全な場所へ避難、避難で避難する避難
避難が発表されて避難しない場合
→ 避難の安全な場所へ避難(避難の無いとあるへ避難)
避難が発表されて避難した場合
→ 避難の2階以上の高い場所へ避難(山の斜面近くは反対方向の高い場所へ)

マイ・タイムライン活用方法

いつ	どこで	どのように

地域防災力向上の取組み【出前講座(中央公民館)】

薩摩川内市中央公民館 令和7年6月27日

受講生からは、「もう一度資料をよく見て、マイ・タイムラインの完成や避難の方法を考えてみたいと思います」などの感想が寄せられた。

◆アンケート結果

5人参加・・・	ア とてもよかった	(5人)
	イ 良かった	(0人)
	ウ ふつう	(0人)
	エ やや物足りない	(0人)
	オ 物足りない	(0人)

◆思われたことや感銘されたことなど

- わたしの住む場所は水害を受けやすいので、レベル4で迷わず逃げます。ビデオでもあったように、いざという時に、主人の「家を守る」と言って動かない場面がありましたが、私の主人も一緒です。今日学習した事を家に持ち帰り、家族に伝えたいと思います。
- 防災マップの家訓や気象情報等を確認できるホームページを見て、防災時の避難場所を検討し直すことができました。ありがとうございました。
- 身近な命に関わる内容で、とても勉強になりました。もう一度資料をよく見て、マイ・タイムラインの完成や避難の方法など考えたいと思います。
- 「まず逃げる」を目標に考えてみたいと思います。どの経路か。服装はどうするか。何を持っていくか。その他、心すべきことを考えてみたいと思います。
- 普段は川内川河川事務所と全くご縁がございませんが、今日の説明で事務所の概要について初めて知ることで、今日ほど日頃の備えがいかに大事であるか、また、ひとたび洪水や氾濫が起こった時は、早期（分散）避難が大切か実感として感じられたことはありません。防災の講座を受けて本当に良かったと感じ申し上げます。

地域防災力向上の取組み【出前講座(野間島自治会)】

薩摩川内市 野間島自治会 令和7年10月25日

川内川の氾濫よりも銀杏木川の氾濫による洪水被害を心配されていることから、洪水対策について被害を最小限にするため地域全体で予備知識を学んで頂く出前講座を実施。

全体説明



洪水対策説明



パックテスト



浸水検知センサ、水門・ポンプマップ説明



浸水検知センサ

浸水検知センサとは川の増水や道路の冠水を自動で検知する装置です。
浸水センサが検知した情報は公開していますので市民の皆さんも公式LINEから確認することができます。

どんなところに浸水検知センサがついてるの？

土地の高さが低く、雨が降ったときに水が溜まりやすいところ。

- ポンプ施設付近 → 土地の高さが低く、水が溜まりやすいところ。
- アンダーパス → 道路の高さが低く、豪雨時に冠水の危険がある箇所
- 早期浸水箇所 → 過去に道路が浸水した実績のある箇所。

どの様に浸水センサから通知をうけたいの？

薩摩川内市の公式LINEから登録すれば通知を受け取れます！

通知を希望するセンサを選択（通知をON）にすると、該当センサが浸水時にプッシュ通知でお知らせ！

水門・ポンプマップ

水門ポンプマップとは鹿児島県や薩摩川内市が管理する水門、樋門、ポンプ施設の操作状況を公表している地図のことです。市民の皆さんも公式LINEから確認することができます。

どうして水門、樋門やポンプの操作状況を公表しているの？

- 水門や樋門は川の増水したときに、水が宅地側に逆流しないようにする施設です。
- ポンプ施設は、宅地側の水を川へ強制的に排水する施設です。
- 水門や樋門、ポンプが動いている時は洪水の危険が高まっているため避難の判断材料にもらうために、操作状況を公表しています。

どうやったら水門ポンプマップが確認できるの？

市の公式ラインから確認ができます

安全安心 浸水情報 水門情報 ポンプ情報

野間島自治会付近ではどの施設が公表されているの？

操作状況によって色が変わります

- 平常
- 待機中
- 操作中

山田島排水ポンプ

河内川カメラ（山田島）【川内川（山田島）】

地域防災力向上の取組み

広報薩摩川内 7月号より



新導入！「見える」避難所 災害マップ

令和7年4月から、災害時における避難所の状況などをリアルタイムで「見える化」し、市民への迅速な情報提供を行う、**災害マップ（未来共生災害救援マップ）**を導入しました。

災害マップの閲覧方法

- ①ウェブ検索で災害マップと検索する
- ②災害マップを見るを押す
- ③位置情報の設定を許可する
- ※既にスマートフォンなどで位置情報を設定していれば、現在地が表示されます。
- ④お近くの避難所をクリックすると詳細を確認できます。
- ※導入している他自治体の情報も確認することができます。

位置情報の設定方法など詳しくは、左記の二次元コードからご確認ください。

主な機能

危険箇所を確認

暴雨による、道路などの交通情報を被災状況の表示と一掃に確認することができます。

「ハザードマップ表示」機能

平常時からハザードマップ機能を使って、お住まいの地域の状況を確認することができます。

洪水情報（想定最大規模）をマップ上で、色付きマップが表示されます。その他、洪水情報（想定最大規模）や高潮情報、津波情報、地震警報情報も確認することができます。

避難指示の表示

避難情報を「アラート」から受信し、警戒レベルによって表示されます。

※「アラート」は、災害時に避難情報や警報などを、テレビ、ラジオ、スマートフォンなどに通知して、すばやく避難に住民へ届けます。

警戒レベル	市町村の対応
5	緊急安全確保
4	避難指示
3	高齢者等避難
2	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
1	早期注意報（気象庁）

リアルタイムで避難所の状況を共有

避難所が開設されると、上記のようなアイコンが表示されます。

避難所の避難状況や電気、水道、ガス、通信の稼働状況を確認することができます。

例

／ 行こうよ！／

図書館へ

おすすめ本

喜びとは、失敗とは、仲間とは、仕事とは、そして幸せとは。幸せがずっと続くアフリカの小さな村の物語を紹介。アフリカの小さな村の教を生活に落とし込むための秘訣も解説。

著／ひすいこたろう 絵／SHOGEN

子どもも大人も思わず「かわいい」と声を上げてしまうセシンのよいお弁当レシピ集。身近なキッチングッズを使って、お弁当をかわいくアレンジするアイデアをプロセス写真で紹介。

著／maria

現役外科医であり作家でもある著者が、自身の半生をつづる。失敗経験をもとに、悩んでいる子どもたちに向けて「命の現場」で見出した後悔のない生き方を伝授。

著／中山祐次郎

新着本

池上彰が監修。あらゆる危険から命を守る方法を網羅。ハチに襲われたとき、クマに遭遇したとき、目の前で人が溺れているとき、さまざまな危険とその対処法をイラスト付きで楽しく学べる一冊。

監修／池上彰 著／海乃みわこ

「ぼくらはらっぱは、せかいでいちばんのぼしよかな」と疑問に思ったノウサギは、「せかいでいちばんのぼしよ」を探す旅に出た。ノウサギが見つけた答えとは。

作／ベトル・ホラチェック 訳／いわじょうよしひと

報子でいっしょに楽しむジュタイナーの手仕事のはずなら足裏が9割

著／土田聖紀

歩ける寿命を100歳まで伸ばすなら足裏が9割

著／鈴木きよみ

気の毒な毒物たちききたきた毒物帖(三)

著／宮部みゆき

オレは「最強」だったから作／くすのきしげのり 絵／江口ノリコ、CAN

図書館がくれた宝物作／ケイト・アルバス 訳／梅田理絵

■郷土文芸誌「文化薩摩川内」第21号作品募集

募集作品／随想（原稿用紙6枚以内）、短歌（五首）、俳句（五句）、詩（2篇以内）、川柳（五句）、さつま狂句（五句）、文芸評論・小論・創作・小説（いずれも原稿用紙20枚以内）

応募資格／市内に居住または勤務している方、郷土出身者

応募方法／直接、送付 ※原稿用紙の形は問いません。

応募締切／令和7年10月31日（金）

発行／令和8年3月（予定）

応募・問合せ／〒895-0076 大島町14番5号 中央図書館

※詳しくは、図書館ホームページをご確認ください。

問合せ先

機関	電話番号
中央図書館	0996(22)3542
樋脇分館	0996(38)0009
入来院分館	0996(44)5311
東郷分館	0996(42)0053
祁答院分館	0996(21)8755
里分館	0996(3)2958
上飯分館	0996(2)0031
下飯分館	0996(7)0311
鹿島分館	0996(4)2211

地域防災力向上の取組み【総合水防演習】

川内川総合水防演習 令和7年5月11日

薩摩川内市（川内川河川敷）において、洪水から地域を守る水防団（消防団）の活動の紹介や国、県、市、防災機関及び民間協力団体の災害時の連携・協力体制の強化とともに、地域の皆さんの防災岸城を高めていただくことを目的に、毎年出水期を前に実施する総合水防演習が薩摩川内市の川内川で開催。



令和7年度 川内川総合水防演習 開催概要

目的
洪水から地域を守る水防団（消防団）の活動の紹介や国、県、市、防災機関及び民間協力団体の災害時の連携・協力体制の強化とともに、地域の皆さんの防災意識を高めていただくことを目的に、毎年出水期を前に実施する総合水防演習が、薩摩川内市の川内川で開催されました。
毎年のように各地で大きな水害が発生しています。継続降水等による集中豪雨が頻発する今、鹿児島地域の河川はまだ安全と言い切ることができません。いざという時、命やふるさとを守るために、私たちに何ができるのか、住民のみなさんに考えていただきました。

主催

別紙「川内川総合水防演習記録紙」参照

令和7年 **5/11** 日
9:30~11:40 (9:00開場)
鹿児島県薩摩川内市西開聞町向田地先
川内川左岸河川敷（隅之城川合流地点）

記録誌

同時開催 防災展
9:30~14:00
九州電力複合施設セノオト

開催場所 ・総合水防演習 薩摩川内市西開聞町向田地先 川内川左岸河川敷（隅之城川合流地点）
・防災展 九州電力複合施設セノオト

参加団体
薩摩川内市、さつま町、伊佐市、湧水町、えびの市
薩摩川内市消防団、さつま町消防団、伊佐市消防団、湧水町消防団、えびの市消防団
陸上自衛隊第12普通科連隊、陸上自衛隊第8施設大隊、気象庁鹿児島地方気象台、鹿児島県警察本部、
薩摩川内市警察署、薩摩川内市消防局、さつま町消防本部、伊佐湧水消防組合、西薩広域行政事務組合消防本部、
薩摩川内市社会福祉協議会、日本赤十字社薩摩川内市地区、FMさつまさんだい、九州防災エキスパート会、
川内川水防協力会、災害時等応急対策協定会社、中越パルプ工業鶴川内工場、れいめい高等学校、
鹿児島純心大学、育英地区コミュニティ協議会、川内すわこども園SECOND、川内高等学校 等

協賛
全国水防管理団体連合会、（一財）河川情報センター、（公社）日本河川協会、（一社）リバーテック/研究会

実施内容
■総合水防演習／参加人数：約1,130人
大規模な災害を想定し、事前行動計画（タイムライン）に基づいた「情報伝達、各種水防工法、避難訓練、孤立者救助訓練」等
■防災展／参加人数：約370人
水防に関する展示やVR等の体験コーナー、災害時に活躍する車両展示・試乗等

さつま町の取り組み

さつま町 総務課

地域防災力向上の取り組み【出前講座(鶴田小学校)】

さつま町 鶴田小学校 5 年生【出前講座(鶴田小学校)】令和 7 年 7 月 3 日

鶴田小学校の防災教育の一環として、川内川の近くにあり、平成 18 年の鹿児島県北部豪雨で被災した虎居地区公民館で防災講座を実施し、さつま町で過去に起きた災害と自宅のできる防災対策について説明した。また、実際に川内川周辺を歩いて巡ることで、過去に起きた水害の痕跡を説明した。

全体説明



公民館が被災した記録



屋外での説明の様子



説明を聞く生徒



屋外での説明の様子



記念撮影



地域防災力向上の取組み【出前講座(外国人向け)】

さつま町 外国人向け【出前講座】令和7年11月28日

鹿児島県国際交流協会主催の多文化共生講座において、「外国人のための防災講座」を実施。優しい日本語で資料を作成して、日本で起こる災害や防災対策、災害時の情報取得手段などを説明した。本町が避難情報などを配信する「安全安心メール」の多言語版を登録してもらい、実際にテストメールを送信するなど、多言語機能の普及を促進した。また、避難所ベッドやパーテンションなど本町が備蓄する避難所物資を体験してもらった。

全体説明



講座の様子



非常持出袋について



説明を聞く参加者



備蓄品の体験



優しい日本語で作成した資料



さつま町
～ひと・まち・自然 みんなで紡ぐ～
きょう
【今日のスケジュール】

1. 日本で起こる主な災害
にほん お おも さいがい
2. さつま町で起きた災害
さつま ちやう お さいがい
3. さつま町で防災情報を知る方法
さつま ちやう ぼうさいじようほう し ほうほう
4. 避難所ってどんな場所？
ひなんじょ ばしょ
5. 避難所での過ごし方
ひなん とき ち
6. 避難する時に持っていくもの
ひなんじょ もの
7. 避難所にある物



広報さつま 5月号より



浸水検知センサを設置しています（町内8か所）

令和3年7月豪雨災害により被災した地域と避難経路となっている主要道路の冠水しやすい町内8か所に「浸水検知センサ」を設置しています。被害の軽減や回避に活用し、防災時に安全で安心な対応につなげることを目的としています。

浸水検知センサ通知設定方法

町公式 LINE を開き、下の図の順番にタップして、通知設定をしてください。



浸水検知センサ設置箇所

- ① 虎居地区都市下水路 ② 虎居後川河口付近 ③ 虎居地区公民館駐車場付近
- ④ 山崎分団車庫前樋門付近 ⑤ 山崎稻荷川・久富木川合流付近 ⑥ 下瀬田川河口付近
- ⑦ 白男川八反田川・泊野川合流付近 ⑧ 求名野平川・前川合流付近

未来共生災害救援マップ（災救マップ）を導入しました

未来共生災害救援マップとは、町内の避難所情報（混雑状況・インフラ状況・避難者数など）や被災した道路の危険個所の表示などを確認できるアプリです。令和7年度から導入し、大雨や台風などの災害時に活用される予定です。また、県内で導入している他自治体の情報も確認することができます。

未来共生災害救援マップの活用方法

ウェブ検索で「災救マップ」と検索するか、二次元コードを読み込むと未来共生災害救援マップのホームページが表示されます。「災救マップを見る」を押すと現在の地図が表示されます。本町では、災害時に避難所情報や被災した道路の危険個所を表示する予定です。



総務課 危機管理係 ☎ (0996) 24-8913

安全安心メールをリニューアルしました

これまで、安全安心情報メールで火災や自然災害の情報などを配信していましたが、システムを更新し、次の各種情報の配信を開始しました。なお、配信元のメールアドレスが変わりましたので、携帯電話で迷惑メールなどの受信設定をしている方は、設定変更をお願いします。

新たに配信される情報

気象情報 警報・特別警報・線状降水帯情報 など	河川情報 川内川下流（宮之城観測所）の 氾濫注意情報以上の情報
地震情報 震度速報（鹿児島地方）・地点震度 ※震度4以上	熱中症特別警戒アラート
津波情報 大津波警報（鹿児島県西部）	

新たな機能

多言語によるメール配信

日本語・やさしい日本語・英語・韓国語・中国語（簡体字・繁体字）・ベトナム語

町公式 LINE と自動連携

- ① 大雨や台風・地震などの自然災害時、町公式LINE登録者に対し、防災情報を通知します。
- ② 火災発生時、発生地区の町公式LINE登録者に対し、火災情報を通知します。

《新規でメール受信を希望される方は、二次元コードから登録できます》



町公式 LINE 友だち登録手順

01 アプリをインストール

インストール方法は、「LINE みんなの使い方ガイド」を確認ください。

02 友だち登録

登録はA、Bどちらでも可。

A. 二次元コードから登録

B. LINE アプリから検索して登録

LINE アプリ内で、「さつま町」または「@satsumatown」で検索する。

これから先の災害に備えるために
令和6年1月に発生した能登半島地震をはじめ、近年、豪雨や台風など様々な災害が多発しています。これらの災害に備えるためには家庭での備蓄はもとより、平時や災害時の情報収集も重要です。町の近年の防災に対する取組を紹介いたします。

地域防災力向上の取組み【総合防災訓練】

鹿児島県総合防災訓練 令和7年5月25日

さつま町において、線状降水帯及び地震の影響により、土砂崩れや川内川水位の急上昇、家屋の倒壊、ライフラインの損傷に加え、孤立地域や多数の負傷者が発生するなど、甚大な被害を伴う複合災害が発生したとの想定で、県総合防災訓練を実施。



いざという時のために 鹿児島県総合防災訓練

- ① 避難者へ健康状態を聞き取り
- ② DMATによる病院支援訓練
- ③ 開会式で一堂に会した訓練参加者
- ④ 大規模火災消火訓練
- ⑤ 住民参加のバケツリレー消火訓練
- ⑥ 海上自衛隊ヘリコプターによる人員輸送訓練
- ⑦ 県防災ヘリからの隊員投入訓練
- ⑧ 車両に閉じ込められた要救助者の救出訓練
- ⑨ 海上自衛隊による緊急入浴支援セット展開・設置訓練
- ⑩ ドローンによる支援物資の運搬訓練
- ⑪ 子どもたちによる避難所運営ゲーム
- ⑫ 外国人避難者の避難訓練
- ⑬ 海上自衛隊によるカレーの炊き出し

5月25日、県総合防災訓練が本町で実施されました。この訓練は、災害時ににおける応急対策を迅速かつ適切に実施できるような防災体制の確立を図ることに、県民の防災意識を高めることを目的に毎年行われているものです。本町での実施は、旧宮之坂町以来、23年ぶりとなりました。

当日は、住民をはじめ約90の機関・団体など、あわせて約千人が参加しました。今回の訓練は、線状降水帯の発生に伴う緊急安全確保の発令と、県北西部を震源としたこの想定で行われました。メーイン会場となった宮之城運動公園と総合体育館では、避難所設置・運営訓練や、救命・救助活動、自衛隊による救出などが実施されました。さらに、新たな取組として、ドローンを活用した物資輸送訓練や、DMAT（災害派遣医療チーム）による病院支援訓練なども行われました。そのほか、宮之城橋下流の川内川河川敷では、消防本部と消防団による大規模火災消火訓練が、薩摩農村環境改善センターでは、自衛隊と消防団による孤立住民の救助訓練や子どもたちによる避難所運営ゲームなどが実施されました。

開会式で上野市町長は「今回の訓練を通して得られた貴重な教訓を生かし、防災対策のさらなる向上を図るとともに、関係機関との連携を一層強化し、災害に強いまちづくりを進めてまいります」と述べました。

5. 情報提供

- インフラツーリズムの取り組み(鶴田ダム)
- 水防災学習プログラムの取り組み
- ラジオ媒体を活用した防災情報の発信
- 川内川の水温データ整理
- 川内川平成18年7月豪雨災害から20年企画について

鶴田ダムの来訪者の状況

- 川内川や鶴田ダムに関する情報を発信している「川内川大鶴ゆうゆう館」には、年間約8,100人(R2～R7年度の平均)が訪れている。
- 鶴田ダムの至近6年間の年間見学者数の平均は約730人であり、令和5年度からはNPO団体による有料のダム見学も開始している。
- 鶴田ダムでは、ダムへの来訪者にダムカードの配布を行っている。その配布枚数は近年増加しており、令和7年度の年間配布枚数は、約1,900枚であった。



川内川大鶴ゆうゆう館

電源開発(株)

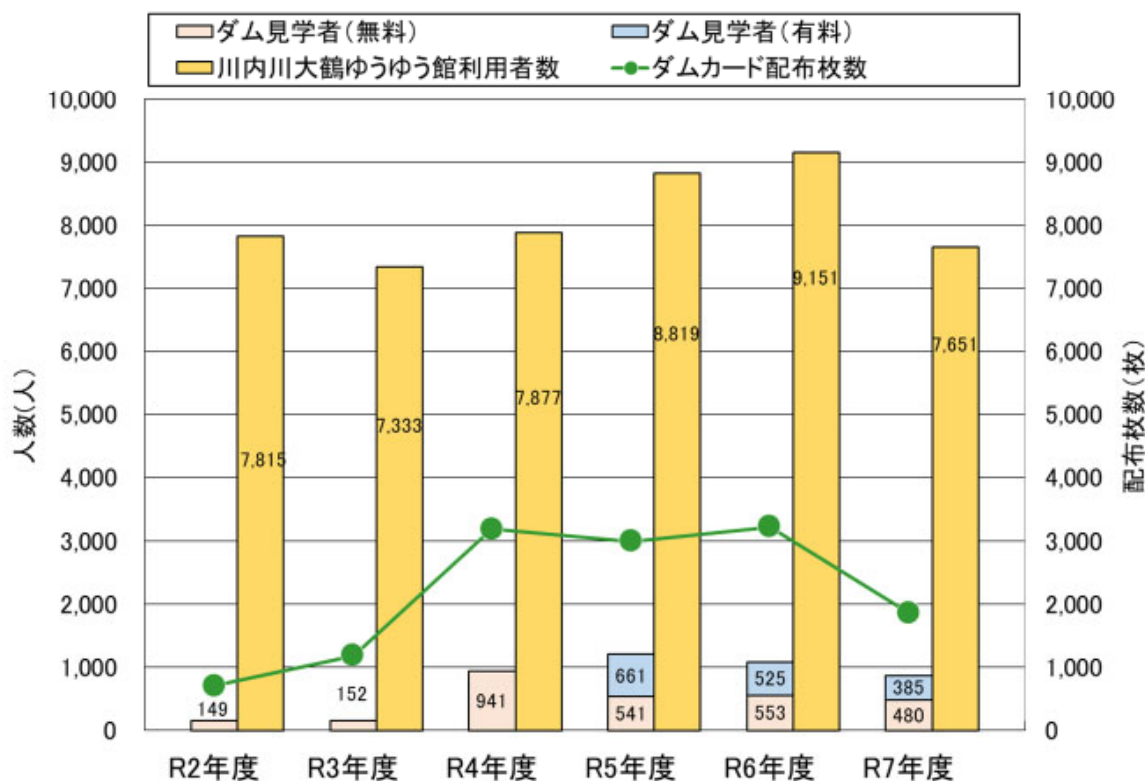
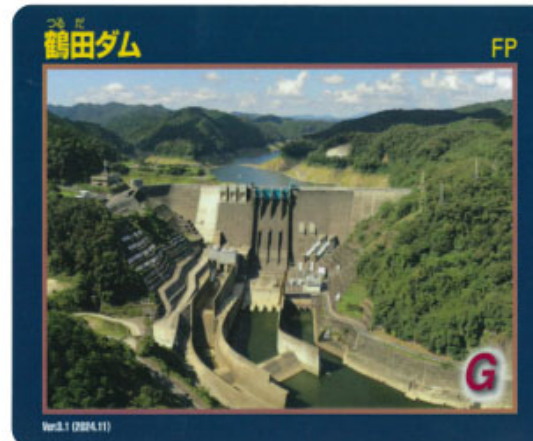


図7-7 鶴田ダムの来訪者の状況



鶴田ダムカード(通常版)



「河川空間のオープン化」への指定

- 令和5年10月に、鶴田ダムは「都市・地域再生等利用区域（河川空間のオープン化）」に指定された。
(R6度現在:全国151カ所、九州14カ所、鹿児島県内で1カ所)
- 占用主体のさつま町が民間事業者等と使用契約を結ぶことで、ダム堤体内の放流ゲート室等を活用した有料ダムツアーの開催、ダム監査廊を活用した焼酎貯蔵販売、及び有料を含めた各種イベントの開催などが可能となる。
- 鶴田ダムでは、地域の防災力を高めるために「ダムガイド」を募集している。
(ダムガイド:R7度現在 3人)ダム見学者に対して、地元のダムガイドがダムの目的や役割などを分かりやすく説明している。(有料のダム見学のみ)

鶴田ダム 秋の大鶴湖まつり

- 令和5年度より、11月下旬にダム周辺にて「鶴田ダム 秋の大鶴湖まつり」を開催している。
(主催:大鶴湖(鶴田ダム湖)インフラツーリズム関係者会議)
- ダム放流見学やダム操作室・堤体内見学を実施。上流の曾木発電所遺構周辺では、遊覧船に乗って曾木発電所遺構や曾木の滝を見学できる「大鶴湖遊覧船」を開催している。
- 令和7年度の開催では、延べ約250人の参加があった。



水防災学習プログラムの取組み

学習プログラムの概要

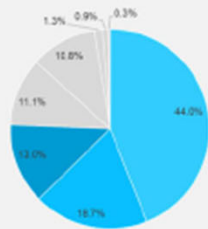
- ・ H18.7洪水を契機に、はじめにさつま町をフィールドに「川内川水防災河川学習プログラム」の開発がスタートし、その他自治体にも展開してきた。
- ・ 近年は、教育現場のICT整備状況を踏まえ、R5年度から学習プログラムのICT化を推進。
- ・ 先生の負担軽減に繋がる教材の作成や身近な地域の教材を充実を図っている。

① 背景

川内川ではH18.7洪水により甚大な被害が発生し、激特事業等により一定の治水安全度の向上が図られた一方で、地域住民の危険性の認識不足等の課題に直面していた。



H18.7洪水による浸水状況



『避難しなかった理由』の調査結果

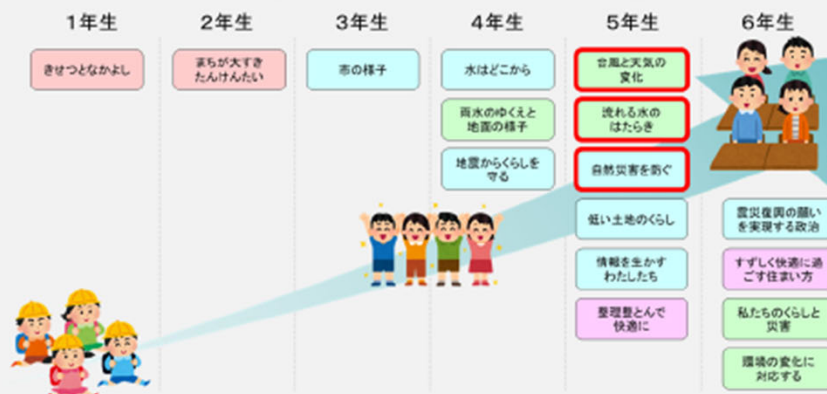
② 経緯

平成18年7月洪水で甚大な被害を受けたさつま町と町内の小学校による取り組みを通じて、水防災学習教材集として「川内川水防災河川学習プログラム」を作成。近年は、学習プログラムのICT化を検討してきた。

H24～H26	H27～R3	R5～
さつま町版を開発し、各小学校で実践。	さつま町版の学習プログラムをベースに、その他自治体版の学習プログラムも開発し流域全体に展開。	学習プログラムのICT化を推進。

③ 特徴

◆ 6年間の小学校教育を通じた体系的な学習プログラム
小学校の3つの単元（赤枠）を軸に6年間通じて防災を学べるプログラム



◆ ICT教育（ギガスクール構想）に対応した教材

授業の進行に合わせた教材

地域の資料を豊富に提示

令和の浸水被害状況

令和の浸水被害状況

洪水時の川内川（動画）

避難の体験談

2025年度グッドデザイン賞 受賞 ～川内川水防災河川学習プログラム～

発信元
川内川河川事務所 流域治水課
崎山浩考 [M772-3561]

- 小学生を対象とした防災教育教材集である「川内川水防災河川学習プログラム」が、2025年度のグッドデザイン賞を受賞しました。
- 審査委員からは、10年前から水害に対する防災対策の重要性を見据えたこと、学習進度に合わせて生活に役立つプログラムを横断的かつ多面的に構築したこと、ICT教育への取り組み等を高く評価頂きました。



受賞対象名 : 川内川水防災河川学習プログラム
受賞番号 : 25G201578

プロビュサー : 国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所
鹿児島大学教育学部 教授 黒光貴峰
デザイナー : 国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所
鹿児島大学教育学部 教授 黒光貴峰



ホームページ 紹介映像
または
こちらをクリック

審査員の評価コメント：

気候変動による水害は九州地方で被害が増加している。鹿児島県川内川流域の子どもたちへ向け、10年前から始まった本取組は、10年前から水害に対する防災対策の重要性を見据えたこと、学習進度に合わせて生活に役立つプログラムを横断的かつ多面的に構築したこと、子どもの未来に活かせる体験を主軸にしていることが良い。文科省と国土交通省を跨いで関係性を築き構想した開発プロセスや、川内川流域の全校で実施されるまで継続・拡張した教育現場の努力も評したい。今後ICT教育への移行によって、動画を見るだけの「受け身」の学習に陥らないよう、施行する現場の声を取り入れてアナログとデジタルの最適なバランス設計を期待する。

グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

祝賀会

崎山

GOOD DESIGN
AWARD 2025

黒光教授

永谷

GOOD DESIGN
AWARD 2025



学習プログラム開発当初
(H24)から携わって頂いて
います

学習指導要領との整合性の確認や
教育関係者と河川事務所との仲介
など幅広くご尽力いただいています

共同受賞者の鹿児島大学の黒光教授と記念撮影

河川事務所の名前をしっかり確認



会場：東京ミッドタウン

展示会



河川事務所の展示もしっかり確認

ラジオ媒体を活用した防災情報の発信(川内川河川事務所)

背景・趣旨

- 住民向けの防災(川内川)情報発信は、HPやTwitter等のSNSを通じてのみ行っている。
- 住民の円滑な避難行動に資するためには、多様な情報発信方法を活用するのが命題。
- 幅広い情報発信網の構築を目指すため『FMさつまさんだい』と連携した取組みを模索。

FMさつまさんだい

<放送概要> 地域の生活・行政情報や独自の地元情報に特化し地域密着型の放送**毎日24時間放送**を実施

<地域防災に積極的> 災害時等には番組内容を変更し住民が必要とする情報を放送

<放送エリア> **薩摩川内市及びさつま町を中心**に伊佐市大口付近まで受信可能

防災情報に関する協定



川内川河川事務所



FMさつまさんだい





R5.2.22 協定締結式

- ・情報に**切迫感**を持たせたい。
- ・情報取得の**簡素化の実現**。
- ・広域住民全体を対象とした**広域な情報発信の実現**

- ・水害時河川に関する**詳しい情報を入手できていない**。
- ・リアルタイムに河川情報を取得し**迅速な情報発信**

平常時

取組紹介

啓発活動

イベント

地域活動

流域治水に関する情報も発信

地域住民の避難等に寄与する情報の発信へ！！

ラジオ媒体を活用した防災情報の発信(川内川河川事務所)

コミュニティ放送局と協力し防災情報へアクセスするためのきっかけを作る

〈水位レベル2～3〉
氾濫注意水位を突破
今後さらに水位上昇の恐れ



ラジオを通じて
地域住民に情報発信

1



ラジオに情報提供

2



ラジオより情報発信

〈水位レベル4～5〉
氾濫危険水位に達する見込み
大規模災害発生への恐れ



河川事務所から
ラジオの中継放送

1



河川事務所にラジオ担当者参集

2



河川事務所より中継放送

FMさつまさんだいに、
リスナーから
川内川に関する投稿



河川事務所が把握
できていない情報を入手

1



リスナー情報をメールで確認

2



状況把握、関係機関との共有
防災エキスパート会からの助言

ラジオ媒体を活用した防災情報の発信(川内川河川事務所)

○令和7年度

4月

- ・洪水対応演習、総合水防演習の紹介

5月 (川内川河川事務所防災室にて実施)

- ・総合水防演習
- ・水閘門点検、重要水防箇所合同巡視

6月

- ・鶴田ダムの概要について
- ・特定都市河川

7月

- ・火山活動について
- ・夏のイベント紹介

8月

- ・水難事故防止 (川遊びで気をつけること)、河川管理について
- ・子供環境ネットワーク (水質・水生生物調査)

9月

- ・京町温泉地区河川公園について

10月

- ・土木・建築フェスタ、大鶴湖祭りの紹介

11月

- ・水質事故について
- ・工事の紹介

12月

- ・出張所の仕事
- ・事務所の広報活動について

1月

- ・水防災学習プログラム



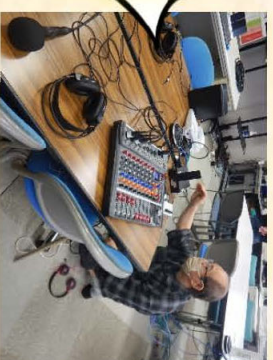
毎月第4水曜日AM10:00よりFMさつませんだいで放送中の
『せんだい川のほとりから』～5月28日(水)の放送は・・・
なんと、**川内川河川事務所の防災室から放送!**
その様子に密着しました

～5月28日(水)の放送内容(テーマ：洪水に備える)～
・川内川総合水防演習について【担当：大澤技官】
・水閘門(すいこうもん)点検について【担当：舟越係長】
・重要水防箇所合同巡視について【担当：橋口技官】

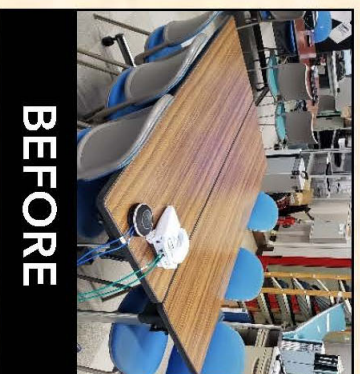
AM 8:55 セッティングスタート



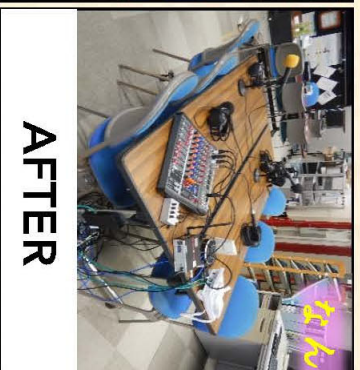
FMさつませんだいの
パーソナリティの今村さんと
音響スタッフさんによる
見事な早業!



AM 9:10 セッティング完了!!



BEFORE



AFTER

なんとということでしょう・・・

なんの変哲も無い
長机が匠たちの手により、
わずか15分足らずで
見事なスタジオへと
様変わり。

AM 9:15 打ち合せ・リハーサル



事前の打ち合わせと本番の流れの確認。
さすがの安定感を見せる今村さんとは対照的に、
3人の表情からは緊張が伝わってきます・・・

いよいよ本番!
一体どうなってしまうのか!?

AM 10:00 放送スタート！

先ほどの不安そうな表情が嘘のように、和やかな雰囲気になった笑顔あふれる放送となりました。
トランプルも全くなく、これには進行の今村さんもホッとされていました。
こうして無事に放送を終えることができました！



AM 10:55 放送終了～♪



みなさん本当に疲れ様でした！

Q.なんで事務所からの放送だったの？

A.川内川河川事務所では、川内川の水位が上昇し危険な状況(水位レベル4～5)になった場合、事務所からのラジオ放送を通して直接情報を発信する協定をFMさつまさんだいで結んでいます。

今回はその取り組みの一環として、事務所からの放送となりました！
これからもうラジオを通して様々な情報を発信していきたいと思います。

イヤホン

スマホ

マイク・機材



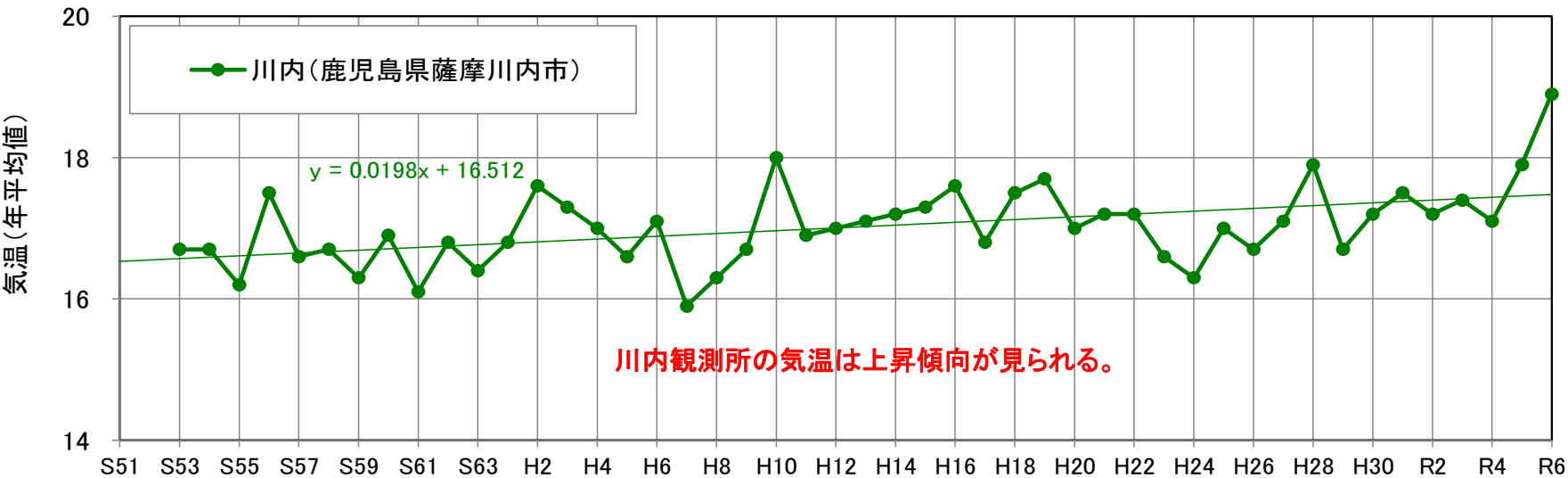
緊急時には、たったこれだけの機材でも放送できちゃうんです！

川内川水温データ整理

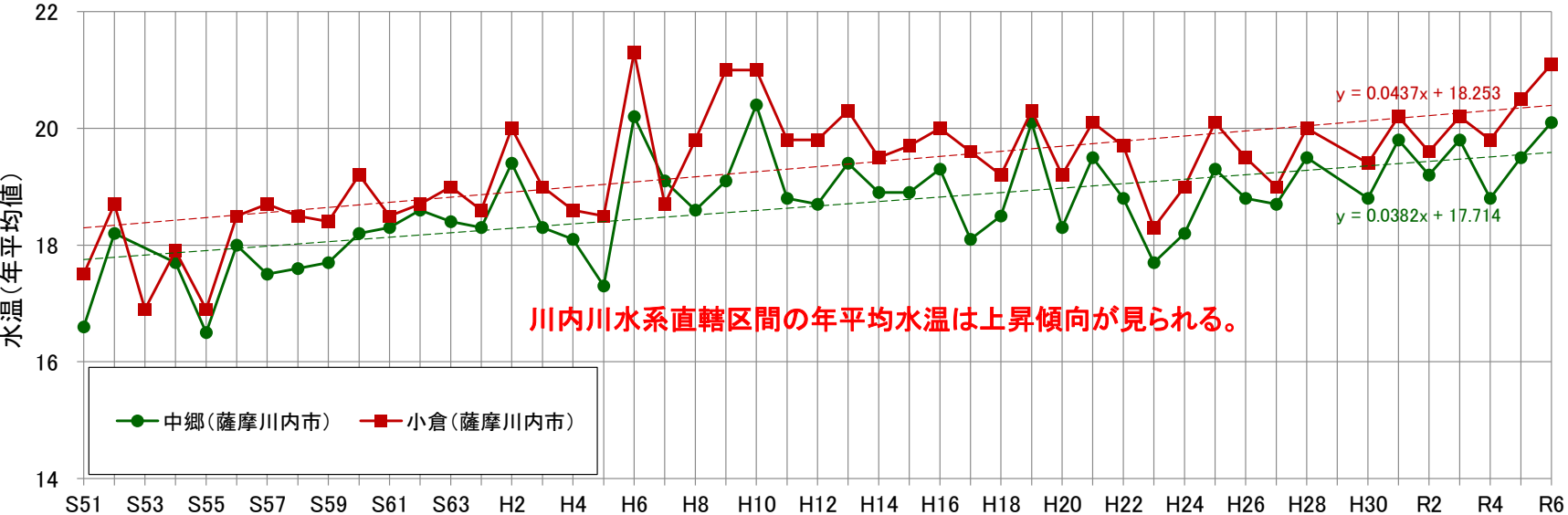


川内川 経年変化状況【気温・水温(年間平均値)】

気温(年間平均値)の経年変化

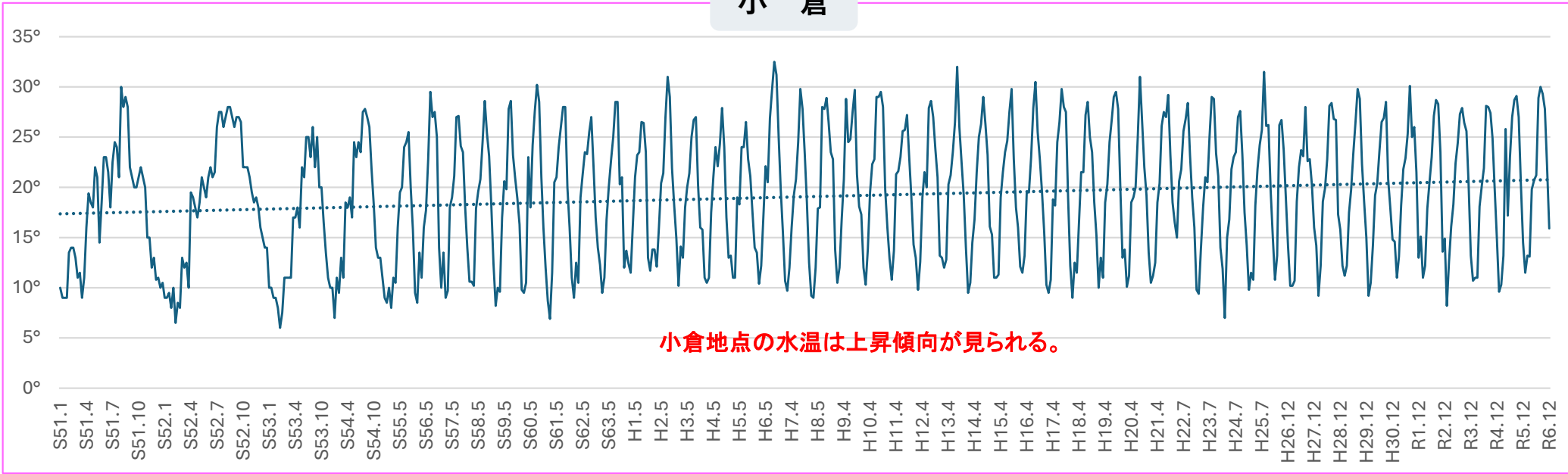


水温(年間平均値)の経年変化

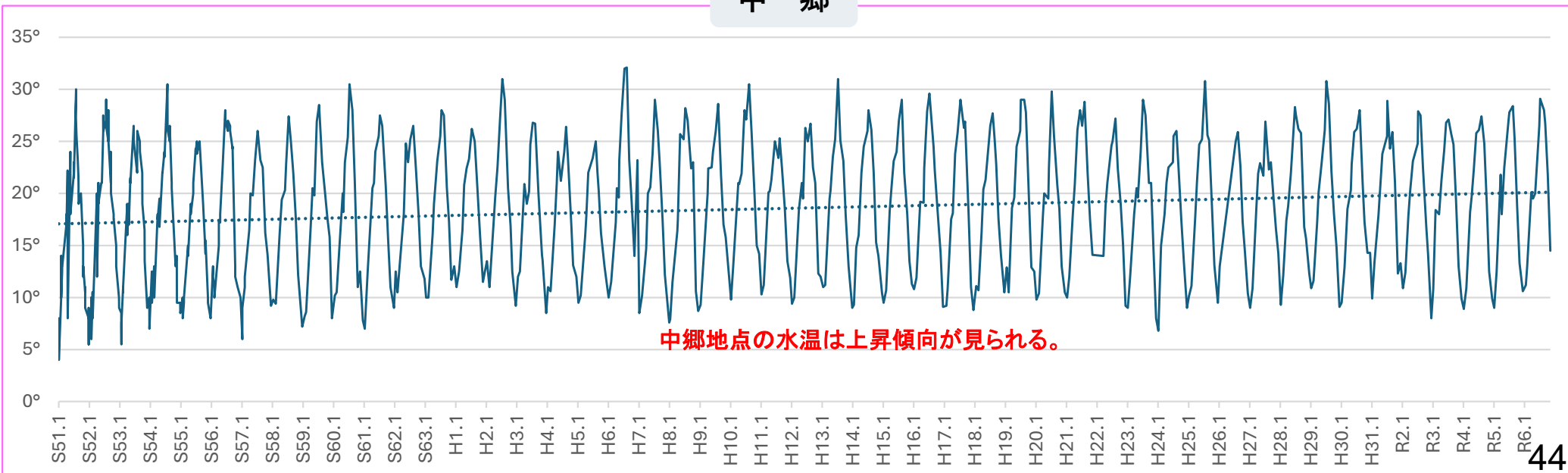


川内川 経年変化状況【水温】

小 倉

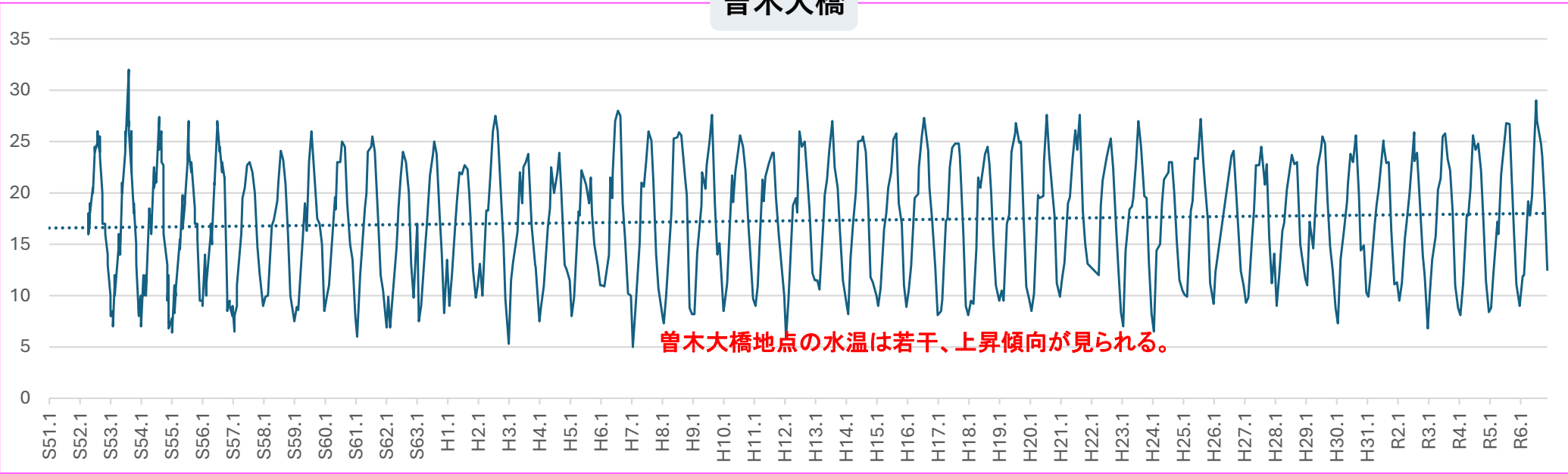


中 郷

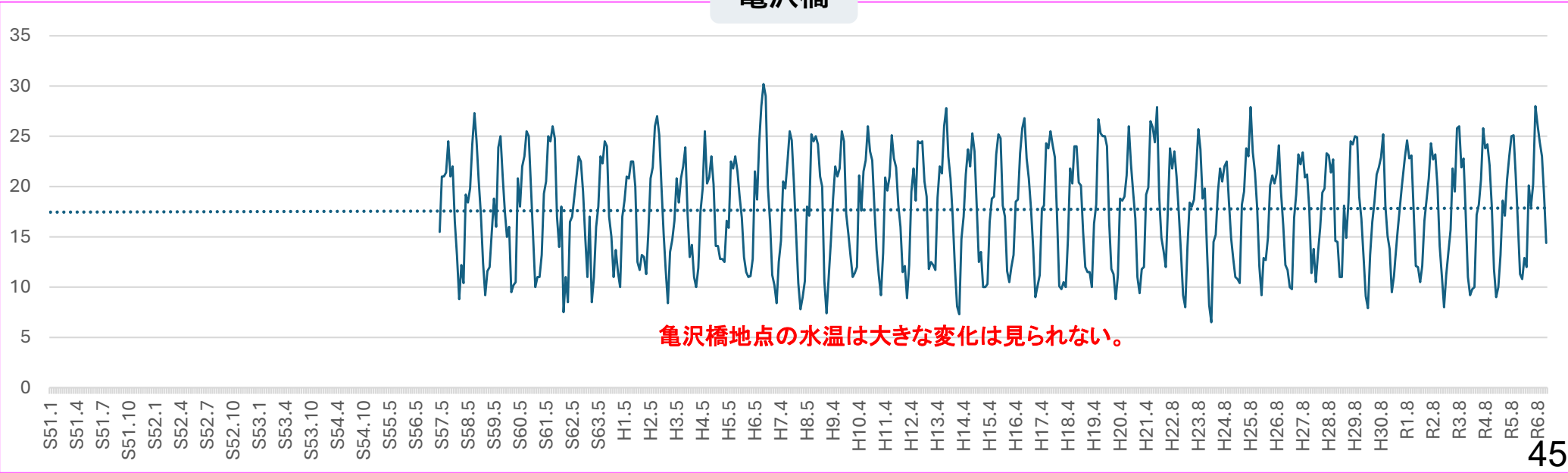


川内川 経年変化状況【水温】

曾木大橋

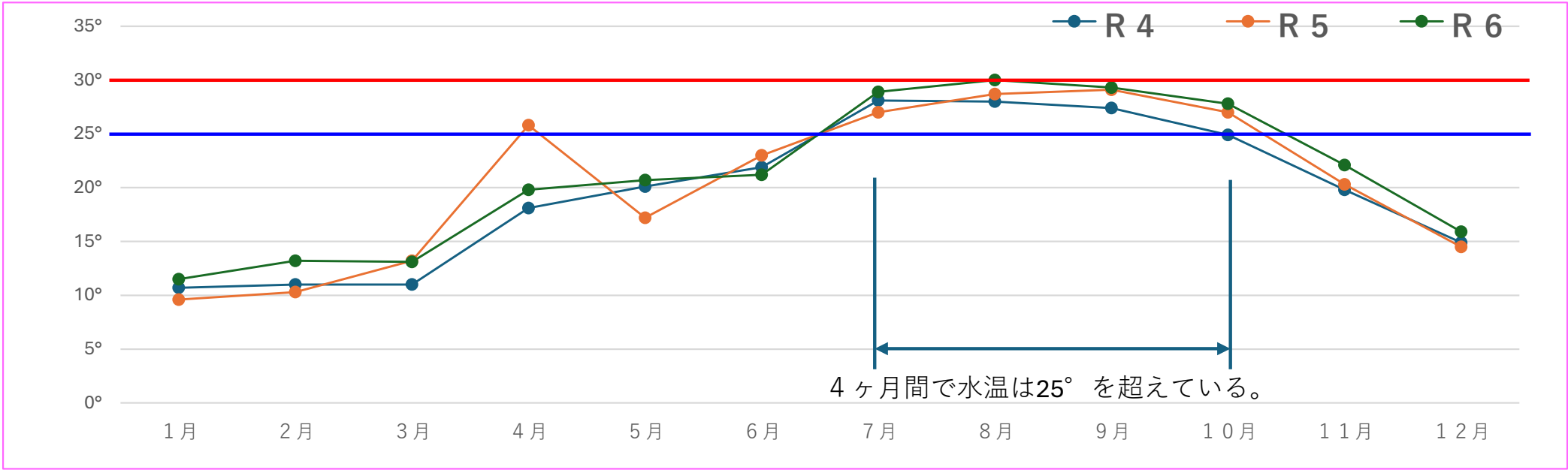
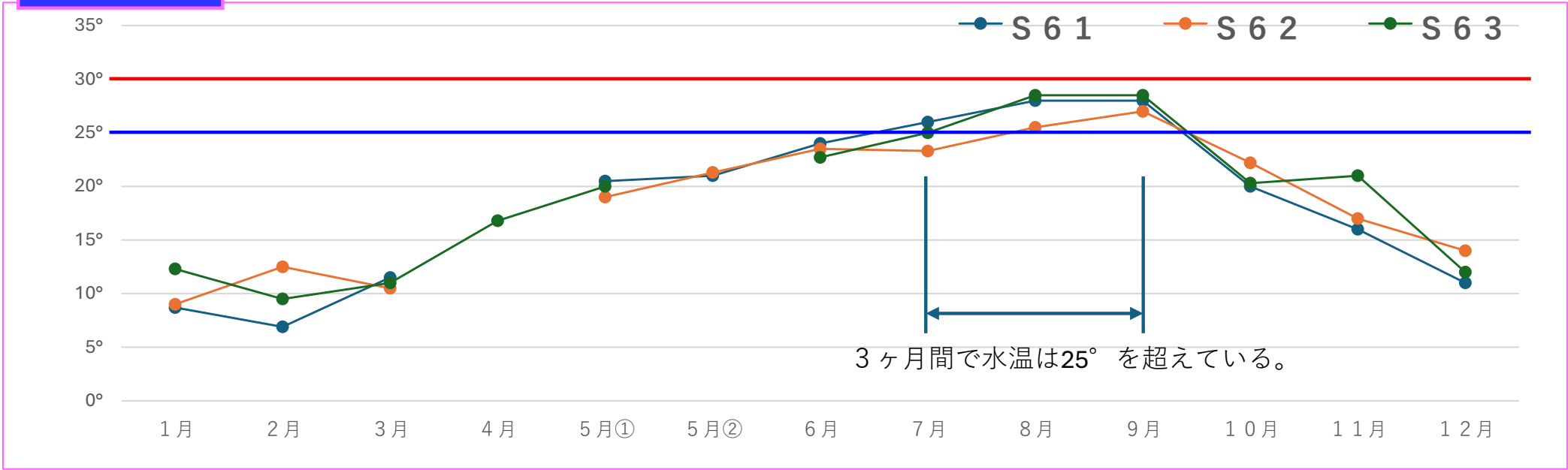


亀沢橋



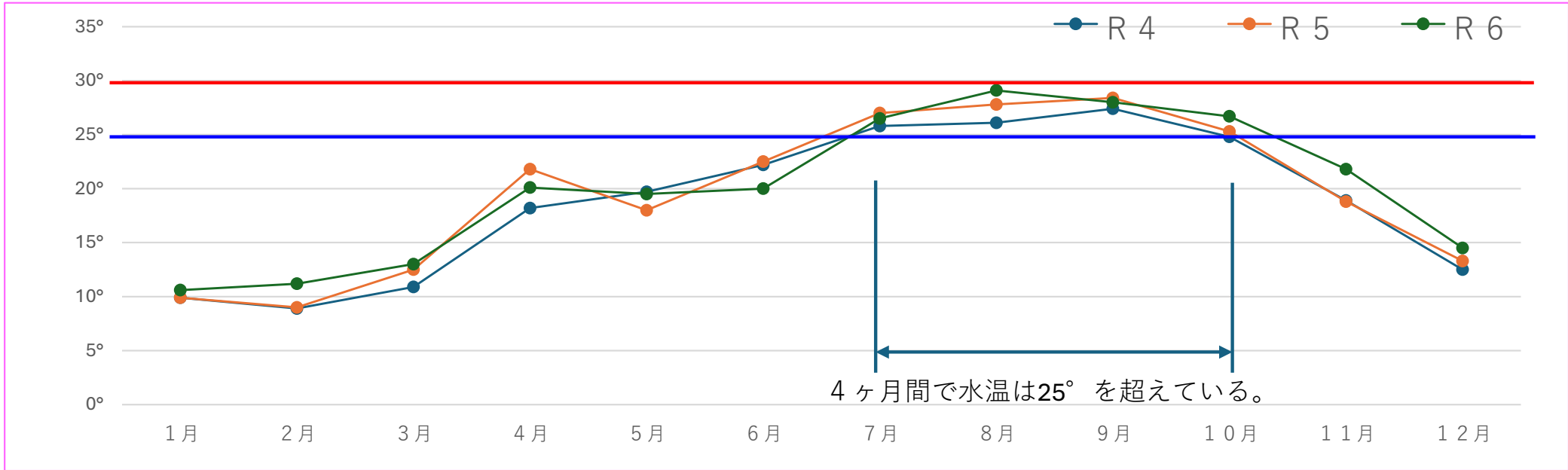
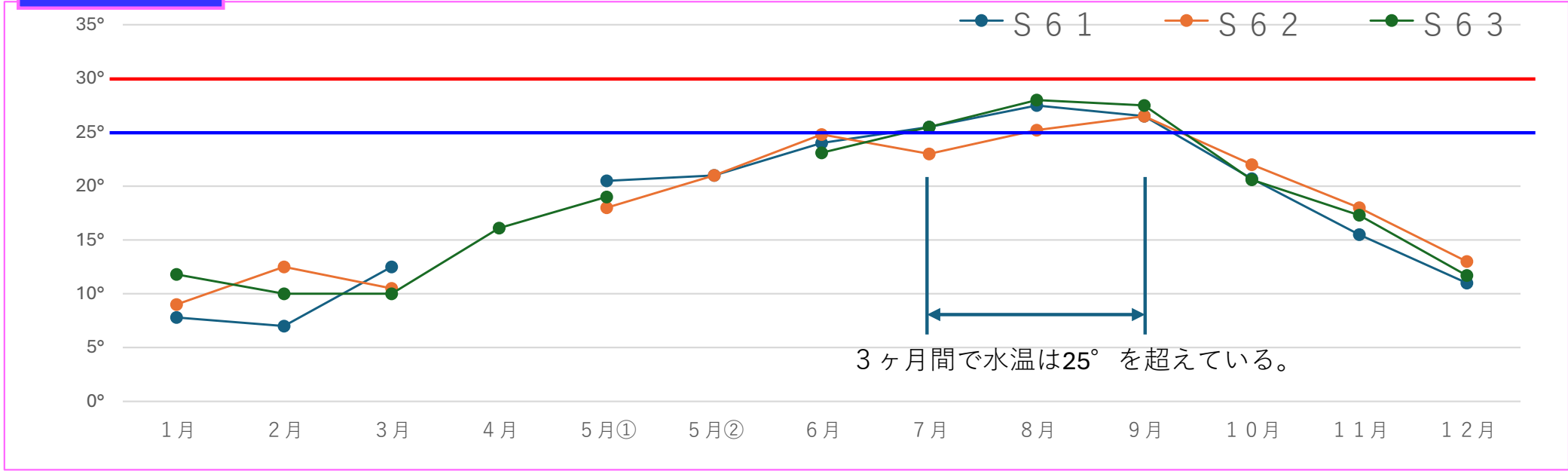
川内川 経年変化状況【水温】

小倉



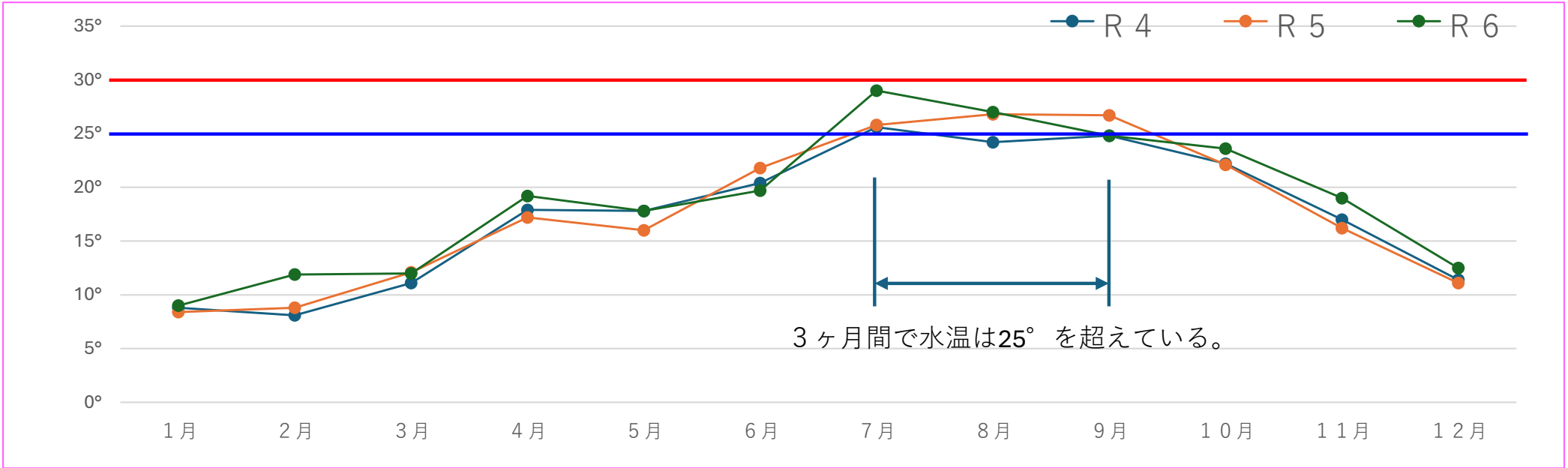
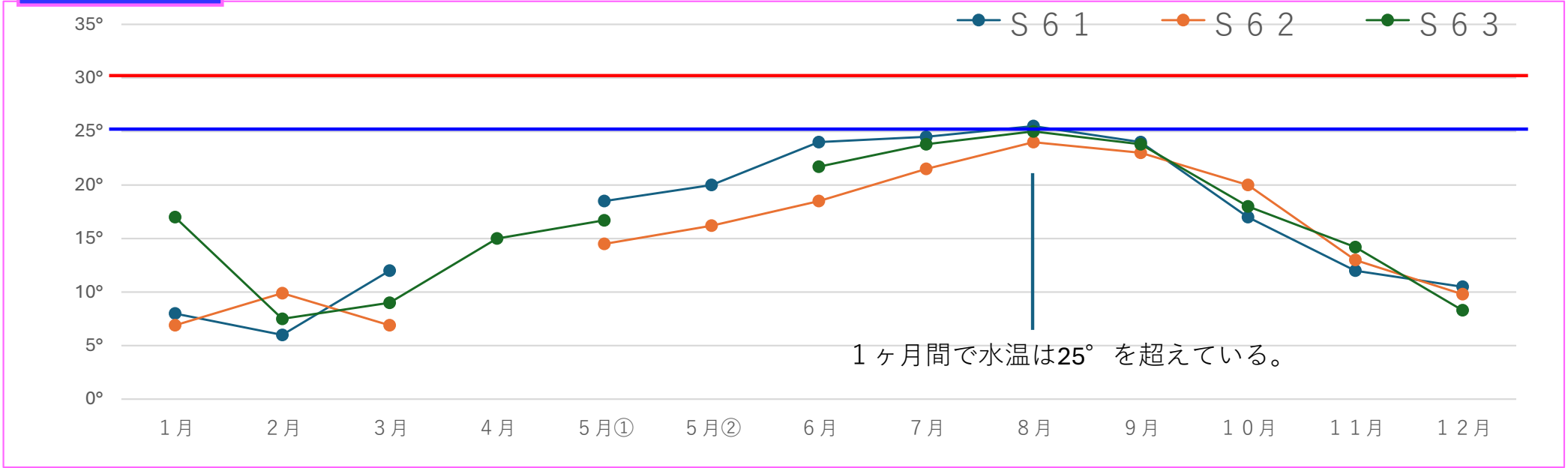
川内川 経年変化状況【水温】

中郷



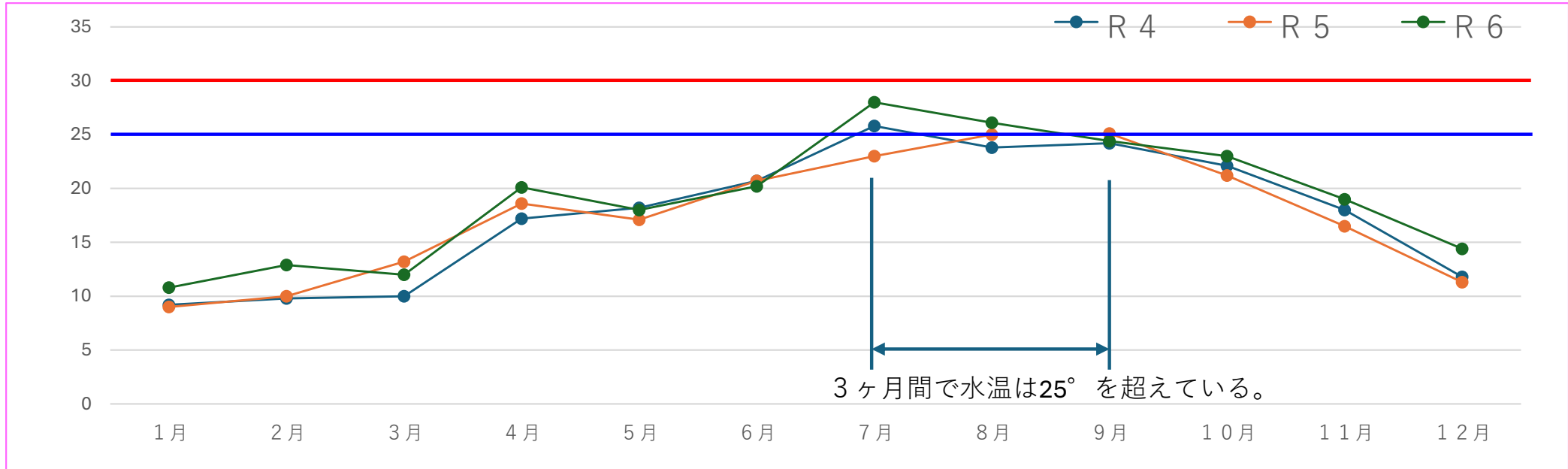
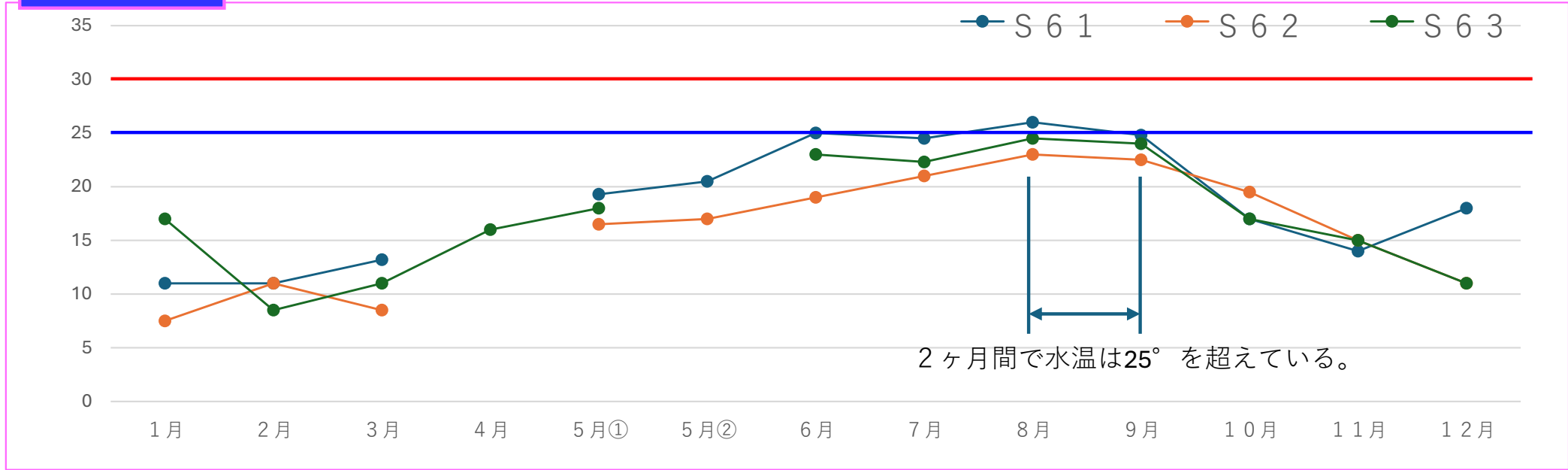
川内川 経年変化状況【水温】

曾木大橋



川内川 経年変化状況【水温】

亀沢橋



「(案)川内川H18. 7豪雨災害から20年

～未来につなぐ「流域治水」への転換～」



<日時・場所>

日時：令和8年秋頃予定

<企画内容（案）>

◆川内川の災害と治水対策の振り返り

◆基調講演

◆パネルディスカッション

